岐阜市
ミライ・ストーリー

～14歳の僕が見た、2040年の風景～

2040年、岐阜市が目指すのは、「人がつながる創造が生まれるしなやかさのあるまち」。
それは遠い未来ではなく、今の取組や一人ひとりの行動が積み重なってできる日常です。その未来を生きる中学生の男の子の一日をのぞいてみましょう。



朝、川原町を自転車でゆっくり走る。

町家の格子戸の向こうから「おはよう」の声が聞こえ、新しい店や小さな工房が、昔からの街並みになじんでいる。今日も面白い何かが始まりそうだった。

通りの少し先では、おじいちゃんがスマホで予約した【自動運転バス】に乗り込む姿が見えた。行き先は柳ケ瀬のウゴクテ。仲間に会い、体を動かすのが、おじいちゃんの日課だ。こちらに気づくと、大きく手を振ってくれた。



僕も柳ケ瀬に着いた。古いビルや空き店舗にはカフェや工房が入り、昔の面影を残しながら人の流れを生む【生まれ変わったビルのにぎわい】が通りを明るくしていた。

今日は、店の人や建築を学ぶ大学生と、カフェをもっと居心地のよい場所にするリノベーション案を考える。みんなで模型を囲み、意見を出し終わったあとに、お姉さんは「学んだことをすぐまちで試せるんだよ」と言った。僕もいつか【まちをまるごとキャンパスにする大学】で学び、アイデアを形にしたいと思った。

参考資料１



夕方、公民館では【まちの話し合い】に参加した。テーマは、子どもが集まれる場所について。僕の意見にも大人たちは耳を傾けてくれる。まちのことを、みんなで考えているのが伝わってきた。

片隅では、近所のおばあさんが【そばで話を聞いてくれる人】に、暮らしの困りごとを話していた。その人に話を聞いてもらううちにおばあさんの表情が柔らかくなったように見えて、まちにはこうして誰かをひとりにしない人がいるんだと思った。



夜、家族で長良川へ出かけた。やわらかな川風に包まれながら、にぎわうマルシェをゆっくり巡った。店先には、岐阜の畑で育った【採れたてのイチゴ】を使ったデザートが並ぶ。妹がひと口食べると、目を細めて笑い、家族も笑った。ライトアップされた岐阜城を見上げ、ふと思う。

「このまち、好きだな」

朝の川原町から夜の長良川まで、出会った場所や笑顔はつながっていた。みんなで少しずつ創ってきた未来が今、僕たちの“最高にちょうどいい日常”になっている。

この家族の姿は、未来の岐阜市に広がる「幸せな日常」の一例です。
物語に描かれた、移動しやすい暮らしや多様な学び、まちなかのにぎわい、地域の支え合い、食や自然とのつながりは、どれも今のまちづくりの延長線上にあります。岐阜市で暮らし、活動する「あなた自身の未来」を、どう面白くしていくか。そのヒントとまちのリアルな姿を、この先のページでご覧ください。



ここから先は、この“未来”をみんなで創るための
「羅針盤」の始まりです。
岐阜市で暮らし活動する
「あなた自身の未来」をどう面白くしていくか。
そのヒントとなるまちのリアルな姿を、
ぜひこの先のページでご覧ください。

岐阜市未来のまちづくり構想とは?

定義
2040年頃を見据えたまちづくりの総合的な方針

構成
2040年頃の「将来像」と、
それを実現するための「まちづくりの方向性」で構成しています。

分野別計画との関連
分野別計画では、本構想に沿って、
個別具体的な方針や施策・事業を示します。

改定までの経緯
本構想は、2021年度に策定したものです。
社会情勢や市民生活を取り巻く環境の変化に的確に対応するため、
5年ごとに見直すこととしています。今回、策定から5年を迎え、
新たな視点を取り入れるとともに、施策の内容を見直しました。

\ 未来を共に創るための 3つのステップ /

STEP 01



2040年へ向けて、私たちが今立っている場所を確認しましょう。

STEP 02



岐阜市が目指す将来像やまちづくりの方向性を知り、あなたの暮らしや仕事、活動と重なるところを見つけましょう。

STEP 03



それをもとに、自分にできることや、誰かと一緒に取り組みたいことを考え、未来に向けた行動を宣言してください。その一歩が、まちを動かします。

CONTENTS

第1章

- 岐阜市ミライ・ストーリー〜14歳の僕が見た、2040年の風景〜 …… P02-03
- 岐阜市未来のまちづくり構想とは? …… P04
- 2040年頃にあなたは何をしていますか? …… P06-07
- 岐阜市の“今”をのぞいてみましょう …… P08-09
- 岐阜市がわかる9のコト …… P10-11
- 岐阜市にはどんな課題があるの? …… P12-13
- わたしたちのまちの未来をどう考えていく? …… P14-15
- 岐阜市に広がる、前向きな変化 …… P16-17
- “こんな岐阜市にしたいな”今を生きる私たちの声 …… P18
- “未来のまちづくり構想”をアップデートしました! …… P19

第2章

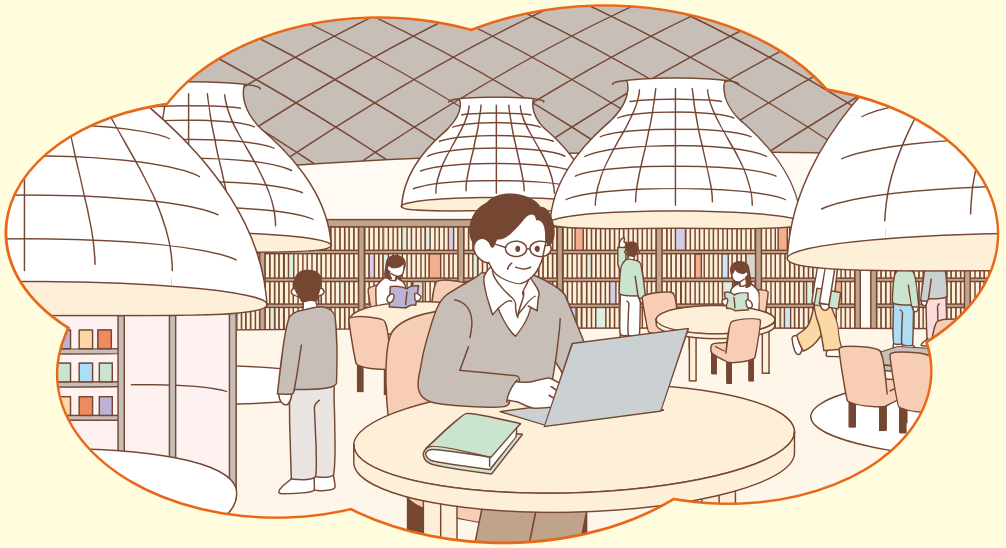
- これが岐阜市の将来像 …… P20-21
- 市長から市民の皆さんへのメッセージ …… P22-23
- まちづくりの基本的な考え方 …… P24-29
- 分野ごとのまちづくりの方向性 …… P30-49
- 行政経営の視点 …… P50-51

第3章

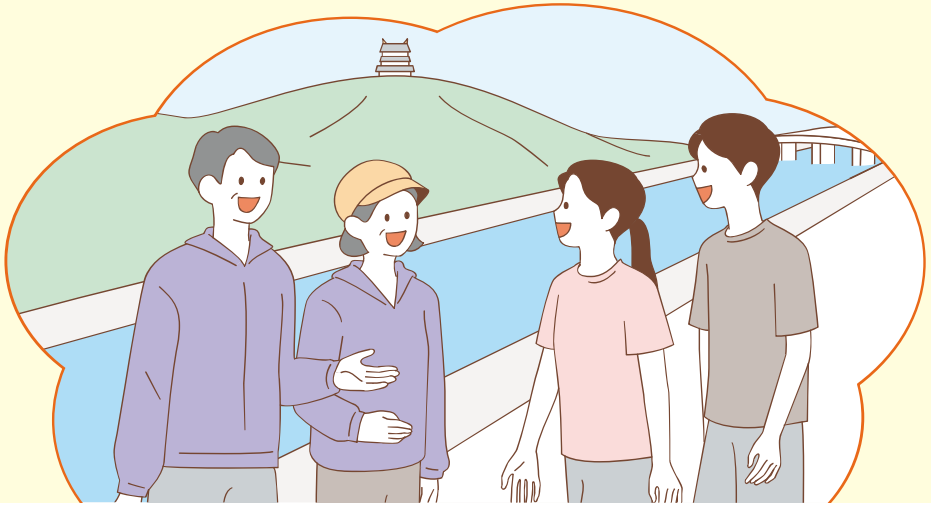
- 市民の皆さんの声が構想に …… P52-56
- 将来像の実現に向けて …… P57
- 岐阜市未来アナザー・ストーリー〜あの頃、思い描いた未来へ〜 …… P58-59







想像してみてください。
2040年頃に
あなたは何をしていますか？



「2040年」と聞くと少し遠い話に感じるかもしれません。でも、今から約13年後のあなた自身の姿を想像してみてください。

今15歳の中学生は、28歳。新しい家族や仲間と共に、このまちで夢に向かって歩んでいるでしょう。今40歳の方は、53歳。これまでの経験を生かし、柔軟な働き方や趣味を楽しんでいることでしょう。今60歳の方は、73歳。健康で活動的な毎日を送り、地域の知恵袋として若い世代を支えているのかもしれません。

そして今あなたの隣にいる小さな子どもは、自分の可能性を広げる挑戦の真っ最中でしょう。

私たちの人生は、いつも「岐阜市」というステージの上にあります。どこで働き、誰と笑い合い、休日にどんな景色を見て心を満たしたいか、あなたが思い描く「理想の暮らし」や「幸せな日常」のピースが集まって、このまちの未来の姿は創られていきます。

つまり、**自分の未来を考えることは、岐阜市の未来を考えることそのものなのです。**

市民一人ひとりの「こんなふうに生きたい」「こんなまちであってほしい」という素直な想いこそが、まちを動かし、より良い未来を創る一番の原動力になります。

「緑豊かな公園でくつろぎたい」「活気ある商店街で買い物を楽しみたい」など、どんな小さなことでも構いません。まずは、あなたや大切な人の「幸せな日常」を言葉にすることから、岐阜市の未来創りを一緒に始めましょう。

MIRAI Action!

Q. 2040年、あなたは何歳になりますか？その時、岐阜市で「どんなふうに笑って過ごしていたいか」理想の1シーンを想像してみてください。

ファーストステップ

想像した「理想の未来」のために、今からできる小さな健康づくりや、新しい学びを1つ始めてみる。

岐阜市の“今”をのぞいてみましょう



普段何気なく暮らしている岐阜市。ここで少し立ち止まって私たちのまちの魅力を改めて眺めてみましょう。

まちなかを見渡せば、清流長良川と緑豊かな金華山が織りなす自然をはじめ、岐阜城や古い街並み、1300年以上続くぎふ長良川の鵜飼など、随所に歴史と文化が息づいています。

また、少し足を延ばせば、各地域にも古くから受け継がれるお祭りや美しい自然、由緒ある名所・旧跡が数多く存在しています。これらはすべて、先人たちが大切に守り育んできた、私たちのまちの誇り（資源）です。

一方で、岐阜駅周辺から岐阜公園にかけての「センターゾーン」をはじめ、まちの各所では新しい動きも次々と生まれています。だれもが心地よく過ごせる広場の整備や、空き家を活用したリノベーション、新しいビジネスへの挑戦など、今ある資源を最大限に生かしながら、未来に向けた魅力づくりが進められています。

古き良きものを大切に受け継ぎながら、新しく面白く変わっていくまち。その変化の過程を一緒に楽しむことも、まちづくりの第一歩です。

ぎふ長良川の鵜飼周辺



MIRAI Action!

Q. 歴史や自然など、あなたが市外の人に案内したい「お気に入りの岐阜市の風景や場所」はどこですか？

ファーストステップ

その「お気に入りの場所」に今度の休日に足を運び、魅力を再認識する。お店を利用して応援したりする。

センターゾーンのにぎわいが連携したまちづくり

岐阜市の中心部には、まち全体の発展をけん引する「エンジン」となるセンターゾーンがあります。

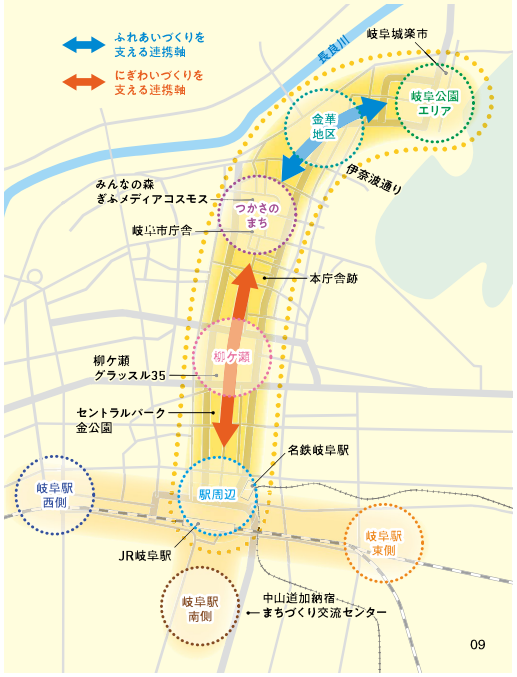
センターゾーンは「駅周辺」「柳ケ瀬」「つかさのまち」「岐阜公園」の4つのエリアと、それらを結ぶ連携軸で構成されており、様々な取組が展開されています。

また、連携軸の一つである「金華地区」に代表されるように、住民組織や民間を主体とする地域資源を活かしたまちづくりも進められています。

こうした各エリアや連携軸で生まれる様々な取組が相互に連携することで、にぎわいや新たな活動がゾーン全体へ面的に広がっています。

さらに、こうしたセンターゾーンを核とするまちづくりの動きは、「岐阜駅南側」「岐阜駅東側」「岐阜駅西側」のまちづくりと連携した展開が期待されます。

それぞれの地域が特色を活かしながら連携することで、岐阜市全体の魅力と活力を高めていきます。



岐阜市がわかる

9のコト

さあ、データを通して岐阜市をのぞいてみましょう。「へぇ、そうだったんだ」と思わず誰かに話したくなるような、意外な強みや魅力が見えてきます。この中であなたが気になるデータはありますか。

1 きれいでおいしい水に恵まれたまち

長良川の水は、名水として様々な評価を受けてきました。清らかな水は、岐阜市らしさを支える大切な資源です。



おいしさが素晴らしい名水部門 5位

（2015年環境省・清流 長良川の雫（当時販売）を選定）

平成の名水百選
（2008年環境省・達目洞(逆川上流)を選定）

名水百選
（1985年環境庁・中流域を選定）

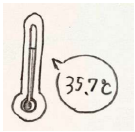


2 日差しが豊かで、夏を感じるまち

日照時間が長く、最高気温も高い岐阜市。
一方で、湿度は比較的低めという特徴もあります。

最高気温 4位

※日最高気温の月平均のうちの最高値
出所：第七十五回日本統計年鑑
令和8年の2024年度データより



日照時間 9位



年平均相対湿度
下位から3番目



※各都道府県の主要な気象官署として日本統計年鑑に掲載されている47地点を比較

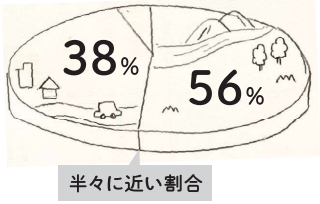
出所：気象庁「気象観測統計（過去データ）」
都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系）2024年データより

3 自然と都市がほどよく近いまち

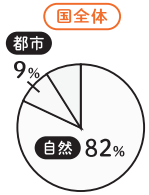
自然の面積と都市的な土地利用が、半々に近いバランス。
山や川を感じながら、都市の便利さもあるまちです。

岐阜市の土地利用の面積割合

都市 道路、宅地　自然 農地、森林、原野、水面・河川・水路、公園緑地



半々に近い割合



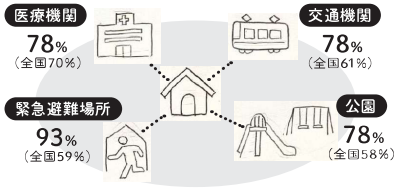
出所：国土交通省・土地利用現況把握調査（2023年度）

4 暮らしに必要な場所が身近なまち

交通機関、医療機関、公園緑地、避難場所など、日々の暮らしを支える場所が身近にあります。

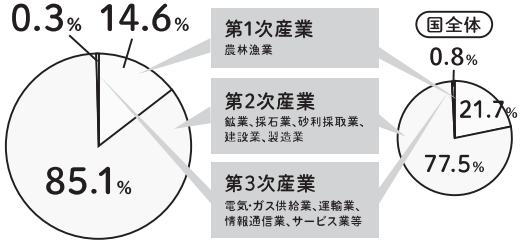
出所：令和5年住宅・土地統計調査

世帯（総数）の最寄りの○○○までの距離が～500m未満の世帯割合



5 第3次産業で働く人が多いまち

岐阜市では、働く人の8割以上が第3次産業。
暮らしや交流を支える仕事が、まちの大きな力になっています。



出所：令和3年経済センサス-活動調査

6 医療の安心が近くにあるまち

人口10万人当たりの医師・歯科医師・薬剤師数は、近隣県の県庁所在市の中でも高い水準です。

医師数	歯科医師数	薬剤師数
		
434人（2位）	115人（1位）	342人（2位）

※愛知・三重・滋賀・福井・石川・富山・長野7県の県庁所在市と10万人当たりの人数にて比較

出所：総務省統計局・統計でみる市町村のすがた2026

7 外食を楽しむ文化があるまち

和食や中華食、喫茶代への支出が多い岐阜市。
食事や喫茶を楽しむ文化が、暮らしの中に息づいています。

5か年平均（2021-25）

和食 1位	中華食 1位	喫茶代 2位
		
41,918.4円（全国23,781.6円）	8,223.8円（全国4,653.2円）	14,418.4円（全国8,904.4円）

※47都道府県庁所在市及び政令指定都市との比較
出所：総務省「家計調査」二人以上の世帯、2021～2025年平均

8 学校外の学びにも関心が高いまち

補習教育への支出が高く、学校での学びに加えて、子どもに合った多様な学びが選ばれています。

補習教育
5か年平均
6位
44,352円（全国31,921円）



うち中学校補習教育
4位 19,966円（全国12,578円）

うち高校補習教育・予備校
3位 17,228円（全国9,780円）

※47都道府県庁所在市及び政令指定都市との比較
出所：総務省「家計調査」二人以上の世帯、2021～2025年平均

9 暮らしの中で学びや趣味を楽しむまち

料理や裁縫、音楽など、日々の暮らしに根ざした習い事への支出が全国平均を上回っています。

家事月謝
5か年平均
1位 1,152円（全国398円）



音楽月謝
5か年平均
7位 6,118円（全国4,595円）



※47都道府県庁所在市及び政令指定都市との比較
出所：総務省「家計調査」二人以上の世帯、2021～2025年平均

MIRAI Action!

Q. あなたが「へぇ、知らなかった！」と一番印象に残ったデータはどれですか？

ファーストステップ

「岐阜市って実は○○なんだよ」と見つけた魅力を家族や友人に話したり、SNSを使って、自分の言葉で発信してみる。

岐阜市にはどんな課題があるの？

まちの未来を考えるうえで、しっかりと向き合わなければならない現実もあります。

例えば、人口減少。岐阜市の人口は今後15年間で約5万人減少すると推計されています。

また、社会保障費の増加や、建物の７割以上が築31年以上となる公共施設の老朽化も、避けては通れない大きな課題です。

しかし、私たちは、これらを単なる「ピンチ」で終わらせるつもりはありません。課題を正面から受け止め、これまでのやり方を見直し、今の時代に合った「新しくて心地よいまち」へとつくり変える、希望ある未来を切り拓く契機（チャンス）として捉えています。

例えば、人口が減るからこそ、一人ひとりの顔が見えるあたたかいコミュニティをつくることができる。

また、長寿化を背景とした社会保障費の増加、価値観の多様化に伴う社会構造が変化する中で、年齢にかかわらず、一人ひとりの知識や経験が社会で生かされる機会の広がりが期待されます。

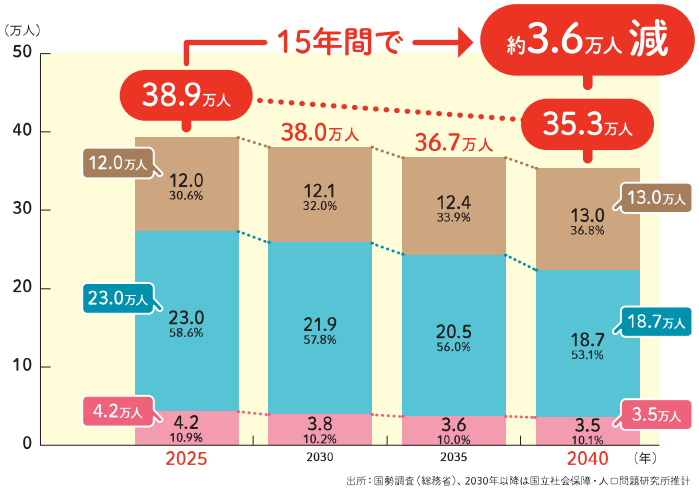
さらに、施設が古くなったからこそ、すべてを今のまま維持するのではなく、必要な機能を見極め、民間の力も借りながら、本当に必要で魅力ある場所へとアップデートすることができます。

課題を前向きに受け入れ、みんなで知恵を絞り、前へ踏み出す。

そのポジティブな挑戦の積み重ねが、
未来の岐阜市を
より豊かなまちへと進化させていきます。

人口減少



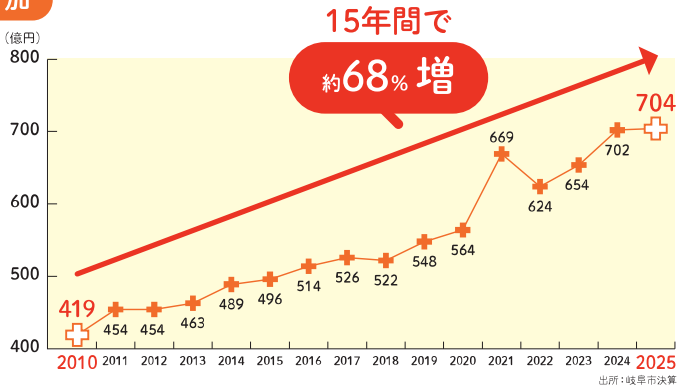


出所：国勢調査（総務省）、2030年以降は国立社会保障・人口問題研究所推計

社会保障費の増加

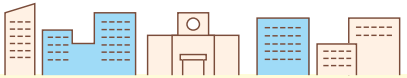
高齢・障がい福祉、
子育て、
生活困窮者支援
などにかかる経費

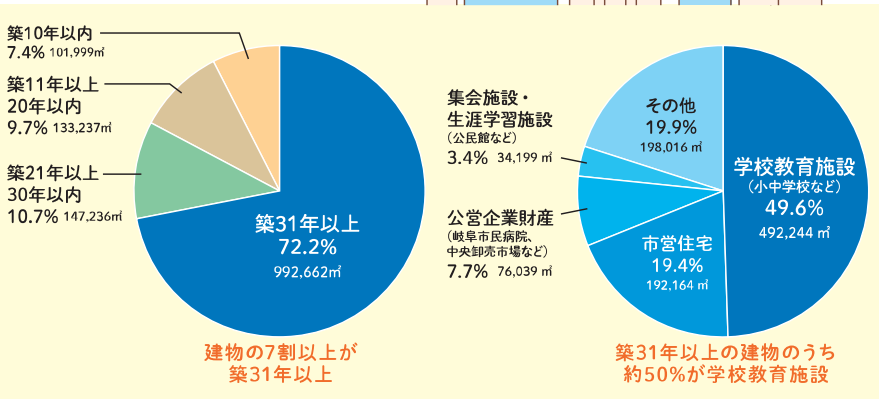




出所：岐阜市決算

公共施設の老朽化





出所：岐阜市集計（建築物系施設の保有状況（延床面積））2026年9月時点

そのほかの課題

- 出生数が減少傾向
- 健康状態に満足している人が4割程度
- 自治会加入率が減少傾向
- 南海トラフ巨大地震の被害想定が深刻
- 空き家が増加

MIRAI Action!

Q. 課題は希望ある未来を切り拓く契機（チャンス）と捉えたとき、あなたの身の回りで「こう工夫すれば生活が便利になるのに」と思うアイデアは何ですか？

ファーストステップ

生活が便利になるために考えたアイデアを家族や友人と話してみる。

わたしたちの まちの未来 を どう考えていく?

イラスト

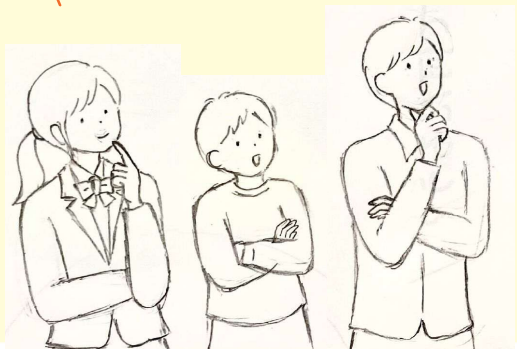
イラスト

イラスト

イラスト

イラスト

2040年の未来のために　今できることって何だろう?





バックキャスト という考え方で 今後取り組むべきことを考えていきます。

これからのまちづくりを進める上で、本構想で大切にしているのが「バックキャスト」という考え方です。今の延長線上で未来を考えるのではなく、「2040年の望ましい未来（ゴール）」を描き、そこから現在を振り返って「今、何をすべきか」を考える手法です。

人口が右肩上がりに増えていた時代は、新しいものを次々とつくる「足し算」のまちづくりが中心でした。しかし、人口減少が進むこれからの時代は、勘や経験だけでなく、客観的なデータ（根拠）に基づいて効果的な取組を見極める「EBPM」の視点が欠かせません。なんでも増やすのではなく、岐阜市ならではの魅力や強みにしっかりと焦点を当て、その長所をさらに磨き上げていくことが重要になります。

まちの未来を変えるには、今の私たちの行動を変えることが第一歩です。理想の未来から逆算して、今の自分にできる小さな準備を始めてみませんか。

MIRAI Action!

Q. 未来に向けて「もっと磨きをかけたい」と思う、岐阜市の魅力やあなた自身の得意なことは何ですか?

ファーストステップ

自分の「得意なこと（趣味やスキル）」を、まちの活動や誰かのために生かせる場所がないか探してみる。

岐阜市に広がる、前向きな変化



岐阜市では少しずつ、しかし確かに前向きな変化が生まれています。数字に表れる変化、まちの風景に現れる変化、毎日の暮らしの中で感じる変化。これらは行政だけの力で生まれたものではありません。市民、企業、地域団体など、多様な主体の「まちを良くしたい」「新しいことに挑戦したい」というそれぞれの思いと行動が重なり合い、一つひとつ形になってきたものです。

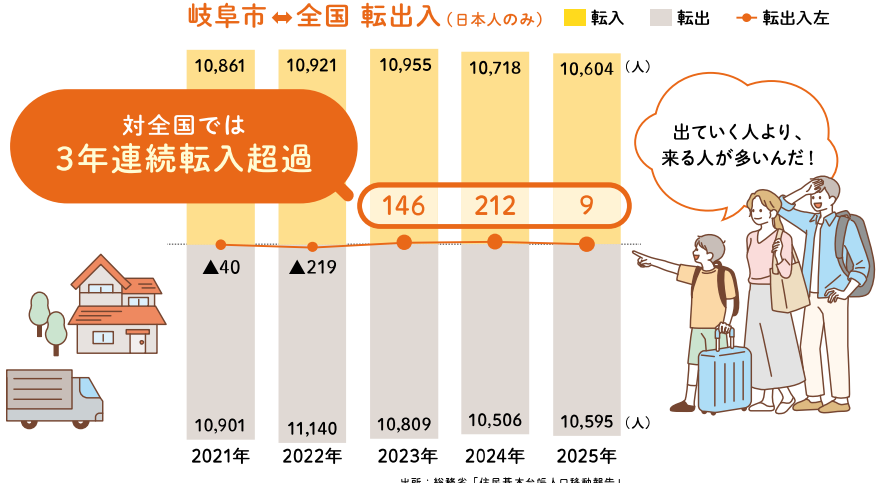
未来は、今日の私たちの積み重ねの先にあります。
このページでは、2040年の「幸せな日常」につながる、今の岐阜市の動きを見ていきます。

数字で見る

岐阜市が、選ばれ始めている。

人口減少が進む時代の中で、岐阜市には前向きな動きも生まれています。

全国からの転入者が転出者を上回る（日本人のみ）など、岐阜市を暮らしの場として選ぶ動きが見え始めています。これは、まちの魅力や暮らしやすさ、そして未来に向けた取組が少しずつ形になってきていることを感じさせます。



出所：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

まちで見える

風景が、変わり始めている。

岐阜駅周辺、柳ケ瀬、金公園、長良川、岐阜城周辺。

岐阜市のまちなかでは、歩きたくなる場所、訪れたくなる場所、移動しやすい環境づくりが進んでいます。人が集い、巡り、楽しむ風景は、少しずつ変わり始めています。


金公園セントラルパーク



長良川夜市


岐阜城楽市

暮らしで感じる

日々の安心を支える動きが、広がり始めている。

変化は、まちの景色だけではありません。子どもたちの学び、健康づくり、地域で安全を支える取組、困った時に相談できる仕組み、便利になっていく行政サービスなど、日々の安心を支える動きも広がり始めています。

こうした身近な変化が、だれもが自分らしく暮らし続けられるまちの土台になっています。


義務教育学校での異学年交流


柳ケ瀬運動施設ウゴクテでのイベント


通学路安全対策ワークショップ

MIRAI Action!

Q. 岐阜市に前向きな変化が生まれている今、あなたの暮らしの中で「少し変えてみたいこと」や「一歩踏み出してみたいこと」は何ですか？

ファーストステップ

- ずっと気になっていたけれどやっていなかったことに挑戦してみる
- まちのイベントに参加してみたり、新しいコミュニティや習い事の体験に行ってみたりする

“こんな岐阜市にしたいな”
今を生きる私たちの声

市民の皆さんとの対話では、子どもも大人も、地域も企業も、それぞれの立場や得意なことを生かしながら関わる2040年の岐阜市が描かれました。「こんな岐阜市にしたい」「自分にもできることから関わりたい」。そんな一人ひとりの想いと小さな行動を、これからのまちづくりにつなげていきます。



子どもも大人も、地域で学び関われるまち

子どもも大人も楽しめるイベントや、学校以外の学び・相談の場を地域に増やしたい。まずは身近な催しに参加したり、できる範囲で運営を手伝ったりしながら、子育てを機に「岐阜に戻りたい」と思えるまちを、地域のみんなで育てていきたい。



何歳でも、好きなことを生かせる暮らしを

趣味や仕事で培った知識や経験を生かし、人とつながりながら、何歳になっても自分らしく活動したい。得意なことを必要とする人や地域と分かち合い、自分のペースで働き、地域に関わることで、だれもが居場所や生きがいを持てる岐阜市にしていきたい。



いつものつながりで、助け合えるまちに

地域の交流や祭りを通じて、まちへの愛着と、日頃から自然に声をかけ合える関係を育てたい。身近な行事や防災訓練など、参加できる機会から地域とつながり、いざというときには、地域と行政が力を合わせて支え合えるまちにしていきたい。



自分らしい働き方や夢を選べるようになりたい

岐阜の文化や風土に根ざした仕事に出会い、自分らしい働き方を選びたい。地域の企業や活動を知り、身近な挑戦を応援することから関わりながら、だれもが起業や夢に挑戦でき、「戻りたい」「選びたい」と思える岐阜市をつくっていきたい。



市民のアイデアが形になり、歩いて楽しいまちに

音楽祭やマルシェなど、市民のアイデアがまちなかで次々と形になる岐阜市にしたい。まずは気になる催しに参加したり、まちの新しい魅力を見つけたりしながら、歩くことや公共交通で巡る時間まで楽しめる、にぎわいと遊び心のあるまちを育てたい。

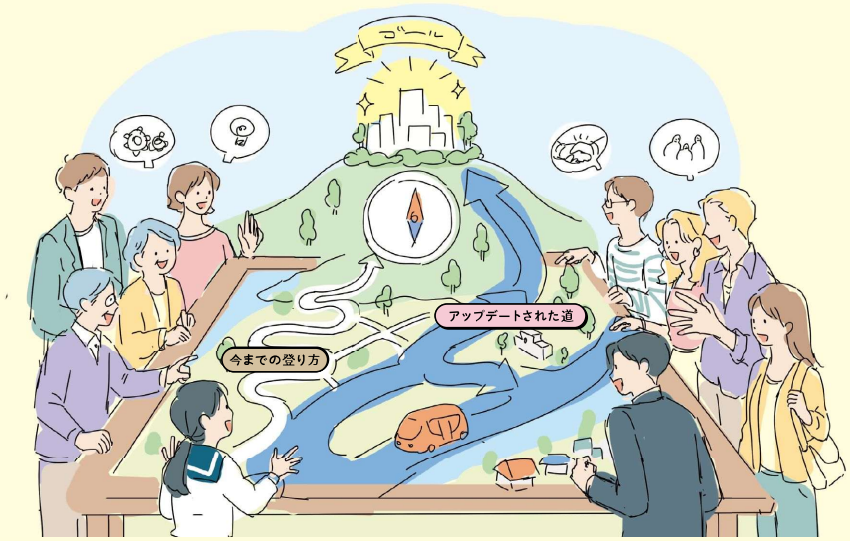
＼ 2040年のゴールに向けて皆さんの声をもとに ／

未来のまちづくり構想 を アップデートしました！

本構想策定時に掲げた2040年の将来像（目指す姿）は、私たちのゆるぎない目的地です。一方で、社会情勢は刻々と変化し、市民の皆さんのニーズも多様化しています。

だからこそ今回の改定では、目指すべき目的地はそのままに、そこへ至るためのこれからの道筋を最新の状態へアップデートしました。

この目的地へ向かう「羅針盤」となる本構想をつくり上げるため、市民ワークショップ等で中高生から大人まで幅広い世代の生の声をお聴きしました。皆さんから寄せられた一つひとつの意見や願いは、新しい道を描くための大切な道しるべとなっています。



第2章では、将来像の実現に向けたまちづくりの方向性を紹介します。
さあ、アップデートされた羅針盤を手に、岐阜市の未来へ一緒に歩みを進めましょう。

MIRAI Action!

Q. ここに並ぶ市民の皆さんの声を参考に、あなたは岐阜市をどんなまちにしたいですか？そのために、今の自分にもできそうなことはありますか？

ファーストステップ

- あなたの想いに近い活動をしている地域団体やNPOを調べ、気になる活動を見つける
- 次のページ（第2章）以降をめくり、自分の想いと重なるまちづくりの方向性や、無理なく関われそうなことを考える

これが岐阜市の 将来像



コロナ禍という大きな変化を経験し、私たちは人とのつながりの尊さや困難を乗り越えるしなやかさの大切さを改めて実感しました。だからこそ、この将来像「人がつながる 創造が生まれる しなやかさのあるまち」は時代が変化しても色褪せない、私たちがこれからもブレずに目指し続けるべき目標です。

この将来像には、3つの大切なメッセージが込められています。

1つ目は「人がつながる」こと。市民や企業など、多様な主体が出会い、共に創り上げる「共創」こそが、まちを発展させる最大の力になります。

2つ目は「創造が生まれる」こと。豊かな自然や歴史文化といった私たちの誇りと、新しいテクノロジーを組み合わせ、岐阜市ならではの新しい価値を生み出します。

3つ目は「しなやかさのある」こと。災害の発生や経済情勢の変化など、予測が難しい事態に直面しても、決して折れることなく、柔軟に対応して乗り越えていく強さを持ちます。

この将来像は、行政だけで実現できるものではありません。あなたの挨拶、得意なことの共有、地域活動への参加、新しいアイデアの提案―どんな小さな行動も、まちをつくる大切な「つながり」の一部なのです。

人がつながる 創造が生まれる しなやかさのあるまち

岐阜市が2040年に目指す将来像

重要な考え方

- 人や企業に選ばれ共に進化する岐阜市 P24-25
- 豊かさと希望と生きがいに満ちあふれた持続可能な岐阜市 P26-27
- オール岐阜で共創する岐阜市 P28-29

まちづくりの基本的な考え方

5年間の取組の方向性

- 教育・子育て P30-33
- 健康・福祉・医療 P34-37
- 市民協働・防災・環境 P38-41
- 産業・労働・交流 P42-45
- 都市基盤整備・交通・中心市街地活性化 P46-49
- 行財政運営・公共施設等マネジメント シティプロモーション P50-51

分野ごとのまちづくりの方向性・行政経営の視点

市長から市民の皆さんへのメッセージ



岐阜市長　柴橋 正直

市長と中学生3人が、
岐阜市の未来のまちづくりについて語り合いました。

都市づくり、人づくりの視点で市の課題をすべて解決していく

■生徒　岐阜市の未来のまちづくりに対する市長の想いを教えてください。

■市長　私は、まちづくりにおいて二つの視点が重要だと思っています。一つは、都市そのものをどうしていくのかというハード面です。もう一つは、人づくりというソフト面です。この両面に取り組むことで市民の皆さんに、岐阜市を人生の拠点にしてほしいと考えています。そのために、岐阜市が抱えているまちづくりの課題は、すべて解決していくという想いで、様々な取組を進めています。

　具体的には、まず、センターゾーンにおける取組ですが、岐阜市では市の顔となり、市域全体を持続的に発展させるためのエンジンとして重要な駅周辺、柳ケ瀬、つかさのまち、岐阜公園の4つのエリアにおいて魅力ある都市空間づくりを進めています。

　例えば、岐阜市の玄関口であるJR岐阜駅と名鉄岐阜駅エリアでは、JR岐阜駅北側の市街地再開発事業が始まっていますし、悲願であった名鉄名古屋本線鉄道高架化事業も2022年度から始まります。この鉄道高架化事業により、その周辺では商業施設などの複合的な開発が検討されており、行政と民間が連携して市の玄関口にふさわしい事業を展開しています。柳ケ瀬では、柳ケ瀬グラッスル35の建設や、金公園のセントラルパーク化、旧長崎屋跡地の活用などを進めていて、このエリアも大きく変化していきます。岐阜城においても、発掘調査をしたり、山頂の木を切って石垣などを見えるようにしたりして、その価値をしっかりと皆さんに伝えていきたいと考えています。こうした取組を一つずつ進め、課題を解決して市民の皆さんの目に見える形で岐阜が動いている、変化しているということを感じてもらいたいと思っています。

■生徒　まちづくりは人づくりという言葉がキーワードだと思いました。整備された建物や空間をどのように使うかは、そこに暮らす人たち次第ですし、例えば、柳ケ瀬でやっているサンデービルヂングマーケットでは、いろんな人がお店を出していて皆さん生き生きしていました。

■市長　市民の皆さんのニーズをつかみながら、行政と民間がコラボレーションしてまちづくりを進めていくことが大事ですし、市外からビジネスなどで人が集まってくるような力のあるまちが、人口減少時代にも残っていくまちだと思っています。

レイアウト案
内容はダミーです





市内中学生（左から）　大野さん / 原田さん / 猪又さん

皆さん一人ひとりが
価値ある大切な存在です。
それぞれが
力を発揮できて、
幸せを感じられるまちを
一緒につくっていきましょう

こどもファーストを掲げ、人を大事にするまちづくりを進める

■生徒　ソフト面でのまちづくりについても教えてください。

■市長　私が市長に就任して以来、こどもファーストを市の方針として掲げ、様々な取組を進めています。岐阜市の教育の課題は、いじめと不登校であり、いじめ重大事態が起きた時、教育大綱を改定して、基本方針に「生命の尊厳」と一人ひとりが価値ある大切な存在として互いに認め合う」という言葉を入れました。自分も他者も価値ある大切な存在なら危害を加えることもないですし、いろんな人と関わり、学び、経験して自分の人生の目的を見つけてほしいと思っています。

　もう一つの課題である不登校については、すべての子どもたちの学びを保障したいと考えています。2021年4月に不登校特例校である草潤中学校を開校しましたが、すべての子どもたちが一人一台のタブレットも使いながら、どんな形でも学びにしっかりとつながり続けてほしいと思っています。

　そして、人づくりの視点で学びとともに大事なのが働くことです。岐阜市では、年齢や性別、国籍、障がいの有無などにかかわらず、一人ひとりが持てる力を発揮する多様で柔軟な働き方であるワークダイバーシティにも取り組んでいます。このことにより、すべての人の居場所や出番が確保され、幸せを感じ、暮らしていけるのではないかと考えています。

■生徒　こどもファーストのお話を聴いて、私たちの中学校で受け継がれている、仲間を大切にしようという宣言と同じ考えだと思いました。このことは、中学校生活だけでなく、社会に出てからも必要な考えですし、相手のことを大切にして、自分のことも理解しながら将来の岐阜市について考えていきたいです。

■市長　仲間を大切にしようという考え方はすべての人に当てはまると思います。みんなが同じ考え方を持てば平和になるし、まちも発展すると思います。多感な時期にこうしたことを真剣に考えると大人になっても財産として残ると思います。

■生徒　学校でも岐阜市全体でも、人を大切にするということは同じだと思いました。今後、大人になるにつれて活動範囲も広がっていくので、何か自分も岐阜市のまちづくりに協力したいです。

レイアウト案
内容はダミーです

岐阜のことを好きになって、まちに関心を持ってもらいたい

■生徒　私たちへの期待やアドバイスを含め、市民へのメッセージをお願いします。

■市長　若い皆さんが、ふるさとである岐阜のまちのことを、それぞれの経験や立場から考えてくれていて、本当に素晴らしいと思いました。

　私は、市民の皆さんが「岐阜のことが好きなんやて」と言ってくださり、まちに対して愛着や誇りを持っていただきたいという想いから、シビックプライドという言葉をよく使います。人は、好きなものには関心を持ちます。皆さんが岐阜を好きになると、このまちや、このまちで生活をしている人のことが気になり、それがまちに関わることにつながります。皆さんに、まちづくりに関わっていただけるよう、行政では、まちづくりの課題を一つひとつ解決して、都市の礎をしっかりとつくり、また、こどもファーストの方針のもとで人づくりの環境を整えていきます。市民の皆さんにもそうした動きを感じ取っていただき、オール岐阜で一緒にまちづくりに取り組んでいきましょう。

■生徒　規模は違いますが、中学校も市や社会の縮図なので、その中で自分なら、自分たちなら何ができるかを考えていきたいと思いました。

人や企業に選ばれ
共に進化する岐阜市

固有の資源の活用と官民連携により、安心な暮らしと挑戦を支え、変化の実感が共有されるまち

皆さんが「住み続けたい」「挑戦したい」と心惹かれるのは、どのようなまちでしょうか。岐阜市が活力を維持し「選ばれるまち」として進化し続けるため、先進技術と本物志向の魅力を掛け合わせて、「岐阜市ならでは」の深い共感を創出します。この共感が新たな活力を呼び、民間投資を通じて多様な挑戦が芽吹く好循環を確立します。こうした成長の歩みを災害等に強いレジリエントな都市基盤で足元から支え抜きます。

これらを連動させ、期待と安心感に包まれ共に進化する岐阜市を実現します。

レジリエント

困難な状況や衝撃に直面しても、折れることなく、しなやかに回復・適応できる能力（強靭さ・復元力）を意味します。

先進技術の実装と本物志向の魅力によりさらなる共感が創出されるまち

史跡岐阜城跡や1300年以上の歴史と伝統を持つぎふ長良川の鵜飼をはじめとする「本物志向の観光まちづくり」を推進するとともに、「先進技術の社会実装」におけるトップランナーとして、可変性のある都市の持続的な発展を進めます。歴史や伝統に根差した普遍的な価値と、先進技術が切り拓く未来の可能性を掛け合わせることで、岐阜市ならではの新たな価値を創出し、市内外の人々から一層の共感を得られるまちを実現します。



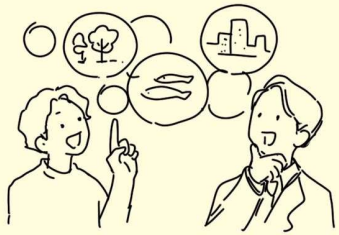
レジリエントで価値の高いまち

災害への備えや気候変動への対策（緩和と適応）を推進し、安全な生活基盤を確固たるものにします。この安心できる環境を基盤として、エリアの価値向上につながる都市機能や地域を支える産業の強化を図ることで、環境変化にしなやかに対応しながら、まちの全体の質が向上し続ける社会を実現します。



多様なチャレンジと変化が生み出される民間投資が活発なまち

企業立地の促進や創業支援を通じて民間投資を積極的に呼び込み、地域を支える雇用と産業を創出します。また、新たな事業の立ち上げやサービスの開発に挑む企業や起業家を支援し、多様なチャレンジが次々と生まれる環境を整えます。こうした民間の活力を市民の豊かな暮らしや岐阜市の魅力向上につなげ、さらなる投資と挑戦を呼び込むことで、変化と活気にあふれるまちを実現します。



岐阜市でこんな取組が進んでいます

01 先進技術の社会実装を先導するまちづくり

全国初となる中心市街地での自動運転バス「GIFU HEART BUS」の5年間の継続運行を通じて、先進技術の社会実装に取り組んでいます。

今後も、産学官の連携のもと、地域課題の解決や市民サービスの向上につながる最新技術を積極的に取り入れ、社会実装を先導するトップランナーとして、持続可能なまちづくりを進めていきます。

02 平時のつながりを生かした地域防災力の強化

大規模な災害時には、市役所や消防機関の力だけでは、十分な災害対応は行えません。自主防災組織による防災訓練や、防災士部会における情報共有・交流、知識の向上に取り組んでいます。

今後も、自治会や関係団体等の連携を深め、平時から顔の見える関係を育み、災害時に互いに助け合える地域づくりを進めていきます。

03 企業立地による民間投資の促進

三輪、黒野、柳津地域において、地域の特性を生かしたものづくり産業等の集積を目指し、企業立地を促進しています。

今後も、地権者や進出企業との合意形成を支援するとともに、必要なインフラを整備し、成長する企業を呼び込むことで、新たな雇用や産業の創出を促進していきます。

豊かさと希望と生きがいに満ちあふれた持続可能な岐阜市

こどもファーストや寄り添う支援により、次世代の育成が進みだれもが幸福を感じながら活躍するまち

私たちが生涯心豊かに暮らせるまちとはどのような姿でしょうか。

岐阜市は、互いに認め合い、学びと挑戦を通じて未来に希望を持てる包摂的な社会を築きます。多様な生き方を尊重し、人口減少を見据えた仕組みへ転換しつつ、一人ひとりに確かな居場所と出番を創出する。こうした環境が心身の健康と温かい交流を育み、Well-being に満ちた活力を生み出します。これらを連動させ、持続可能な岐阜市を実現します。

学びや成長を実感し未来に希望を持てる包摂的なまち

生涯にわたる学びと成長に注力し、未来の財産となる子どもをはじめとした次世代を育むとともに、市民だれもが新たな挑戦に向けて飛躍できる機会を充実させます。あわせて、医療・健康・地域社会の未来をデザインする高等教育を展開し、教育と研究を通じて地域課題の解決に取り組み、まちの価値を高めるとともに、人々の健康で豊かな暮らしを実現します。

さらに、世代や性別、国籍、障がいの有無に関わらず、互いに認め合い、SDGs の基本理念である「誰一人取り残されない」社会を実現することで、だれもが自己実現の喜びを分かち合い、明日への希望を抱いて生きられるまちを目指します。

岐阜市オリジナル
SDGsロゴマーク
（R5.9公募により作成）

SDGs	2015年9月に全193の国連加盟国の合意によって決められた2030年を達成の期限とする国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残されない」ことを誓っています。

居場所と出番がある持続可能なまち



市民一人ひとりに寄り添い、多様な働き方やライフスタイルが叶う、心豊かで安心できる社会を推進します。また、人口減少時代を見据え、量的拡大から質的充実へ、画一から個別最適へと新たなフレームワークへの転換を図ることで、誰もが自分らしく輝ける場所があり、生涯を通じて豊かさを実感し続けられる社会を創り上げます。

Well-beingに満ちた活力あるまち



健康づくりを通して市民一人ひとりが健やかで活力ある生活を送るための支援を実施するとともに、地域に根ざした歴史・伝統文化・スポーツを通じて、人とのつながりや生きがいを実感できる場を創出します。

こうした心身の充実と豊かな交流の両面からのアプローチにより、すべての市民が日々の幸せを実感し、前向きなエネルギーがまち全体にあふれる社会を実現します。

岐阜市でこんな取組が進んでいます

01 市立教育機関の協働による人材育成

岐阜市では、幼稚園から高等学校、特別支援学校、大学･大学院まで、多様なニーズに対応した市立学校を設置しています。

今後も、「こどもファースト」の方針のもと、こうした教育機関が相互に協働し、一貫性を持って教育活動に取り組むことにより、岐阜市の将来を担う人材の育成を進め、地域課題の解決やWell-Beingの向上へとつなげていきます。

02 居場所と出番がある社会づくり

不登校の児童生徒を支援するため、校内やオンラインにおける居場所づくりを進めています。また、ひきこもり相談室において、電話やメール、面談、訪問による相談支援を行っています。さらに、多様な働き方や社会参加につなげるワークダイバーシティを推進しています。

今後も、教育・福祉・産業分野の連携を深め、一人ひとりの状況に応じた居場所と出番のある社会づくりを進めていきます。

03 健康づくりとスポーツを通じた交流

柳ケ瀬健康運動施設「ウゴクテ」とクアオルト健康ウオーキングの連携により、運動習慣の定着を図っています。また、岐阜ファミリーパークの総合スポーツ公園化をはじめ、市内公園の再整備を進めています。

今後も、幅広い世代が健康づくりやスポーツに親しみ、交流や生きがいを実感できる環境を充実させていきます。

オール岐阜で共創する岐阜市

DXによる変革の先頭に立ち、
共助・共生により多様な主体が支え合うまち

オール岐阜で取り組むには何が必要でしょうか。

岐阜市は、一人ひとりが当事者意識を持ち、自発的に活動する市民主体の環境を整えます。その実践の積み重ねがまちへの深い愛着と誇りであるシビックプライドを育みます。こうした市民の熱意とDX等の基盤を掛け合わせることで、多様な主体の連携によるオープンイノベーションを促進します。

行動が誇りを育て、共創へ飛躍する。これらを連動させ、オール岐阜で進化するまちを実現します。

市民主体のまちづくりが進展するまち

市民一人ひとりが地域の当事者となり、対話や合意形成を通じて「まちの未来」や「地域のコミュニティ」を形成していきます。

あわせて、多様な価値観を受け入れる寛容性のもと、挑戦する人を支え応援する機運をまち全体で醸成することで、市民の前向きなアクションがまちを動かし、だれもが主役となって未来を創り上げていく社会を実現します。



地域コミュニティとシビックプライドの醸成が進むまち

長良川や金華山に象徴される豊かな自然と都市機能が調和した、岐阜市ならではのまちの原風景や体験がシビックプライドを育みます。

この愛着を原動力として主体的にまちづくりに関わる人を増やし、包摂性のもとで多様なコミュニティを育むことで、市民一人ひとりがまちへの誇りを胸に、共に支え合いつながる社会を実現します。

シビックプライド

これまで積み重ねてきた岐阜市の歴史や伝統、文化、風土、あるいは先人の営みなどを大切にしながら、市民一人ひとりがこれからも岐阜の地で楽しく豊かに暮らし続けていくための原動力となる、まちへの愛着や誇り、まちに主体的に関わろうとする想いのことです。

多様な主体の連携によるオープンイノベーションを促進するまち

AI等を用いたDXによって社会全体の効率性を高めるとともに、市民、企業、団体、地域、行政など多様な主体が組織の垣根を越えて連携します。それぞれの持つ強みを「共創」によって最大化し、複雑な地域課題を解決しながら新たな価値を次々と生み出す、革新的なアイデアと多様な活力が融合するまちを実現します。



オープンイノベーション　多様な主体が知識や技術、アイデアを持ち寄り、新たな価値を生み出すことです。

岐阜市でこんな取組が進んでいます

01 住民主体のまちづくりの推進

自治会への加入促進や、まちづくり協議会の設立、地域まちづくりビジョンの策定を支援し、住民主体のまちづくりを進めています。また、自治会活動をサポートする地域支援職員の増員などにより、地域への支援を強化しています。

今後も、住民同士の対話と合意形成を大切にし、地域と行政の連携･協働による持続可能な地域づくりを進めていきます。

02 シビックプライドを育む拠点づくり

みんなの森 ぎふメディアコスモスに、シビックプライドの拠点「ぎふ古今（シビックプライドプレイス）」を開設し、市内の歴史や文化、まちの魅力に関する情報の収集･発信やイベントを行っています。

今後も、市民が岐阜の魅力に触れ、人とつながり、地域への愛着と誇りを育みながら、主体的にまちづくりに関わる機会を広げていきます。

03 多様な主体との連携による価値の創出

大学や民間企業等との包括連携協定を通じて、互いの強みや資源を生かした取組を進めています。また、岐阜県との連携、岐阜市を含む5市3町で構成する岐阜連携都市圏の取組、一宮市との県境を越えた連携により、地域課題の解決や地域の活性化に取り組んでいます。

今後も、多様な主体との連携･協働を深め、組織や行政区域の垣根を越えて新たな価値を創出していきます。

岐阜市は「こどもファースト」の理念のもと、誰一人取り残されない包摂的な社会を目指しています。いじめ・虐待の根絶や、切れ目のない子育て支援により安心して学べる環境を整備し、個別最適な学びの推進や市立大学の改革による高等教育の充実を図ります。

地域資源を生かした学びの場づくりなどを通じて、子どもたちの笑顔があふれるまちを実現します。



気になる場面をキーワードから探して、次ページ以降の取組を詳しく見てみましょう！ ▶▶▶

キーワード #生命の尊厳 #誰一人取り残さない学び

1 子どものいのちを守り、学びを支えます

- 子どもとその教育に関わる当事者である学校・家庭・地域のだれもが生命の尊厳を理解し、一人ひとりが価値ある大切な存在として互いに認め合う教育を推進
- 子どもが心身共により良い状態を維持・増進するとともに、自然災害や熱中症、交通事故等の不慮の事故から子どもを守る取組を推進
- いじめや虐待をなくし、不登校や貧困、障がい、ヤングケアラーなど様々な困難や悩みを抱える子どもを支援するとともに、その支援に必要な人材の確保や育成を推進
- 健康危機等の外的要因や、一人ひとりの特性・発達等の内的要因に関わらず、誰一人取り残されることなく安心して学び続けられる仕組みの構築や体制を整備
- デジタルツールを活用し、エビデンスに基づき子どもの状況を的確に把握・分析して効果的な支援を推進



不登校を経験した生徒を受け入れる草潤中学校の実践を生かし、校内フリースペースやオンラインフリースペースなど、子どもが安心して自分のペースで学べる場づくりを進めています。あわせて、デジタルツールを活用し、子どもの心身の変化やSOSを早期に把握し、きめ細かな支援につなげています。

キーワード #切れ目のない子育て支援 #民間活力による保育環境の充実

2 子育てに希望と安心のあるまち

- 結婚、妊娠、出産、子育てにおける希望を実現するまちづくりの推進
- 岐阜市子ども・若者総合支援センター「エールぎふ」等を拠点とし、子育ての悩みや不安、孤立の解消に向けた切れ目のない総合的・継続的な支援の充実と、家庭や地域の子育て力・教育力の向上を図る
- 多様な働き方ができるまちづくりの推進や、子どもに関わる大人が共に子育てをすることなどにより、だれもが仕事と生活や子育ての調和のとれた暮らしの実現を図る
- 貧困状況にある家庭への支援や児童虐待防止対策、外国ルーツの子ども・家庭への対応の充実等、すべての子どもの将来の自立や社会参加、就労への接続を推進
- 民間の力も生かしながら、多様化する保育ニーズに対応するため、保育環境の充実を図る
- 発達の遅れや障がいなどへの早期対応とともに、障がいの有無にかかわらず、すべての子どもが共に育ち、学び合い、健やかに成長できる保育や教育の環境づくりを推進



妊娠・出産・子育ての不安や悩みに寄り添うため、「エールぎふ」やこども家庭センターを中心に、子ども・若者と家庭への総合的・継続的な支援を進めています。さらに、こども医療費助成の対象拡大、保育環境の充実、放課後児童クラブの拡大などにより、安心して子育てし、働き続けられる環境づくりを進めています。

キーワード　#子どもを主語にした教育　#教育DXによる学びの変革

3 教育のリ・デザイン（未来の教育・未来の学校づくり）

- 自ら考え、選択して行動する力、変化にしなやかに対応し、新たな価値を創造する力を育む教育を推進
- 一人ひとりが望む生き方を探究し、好奇心・探究心・創造力の育成、自己肯定感の向上につながる教育を推進
- 一人ひとりの特性に応じた個別最適な学びと協働的な学びを推進
- タブレット端末等を活用し、あらゆる教科、デザインやアート、テクノロジーに関する教育、小中高生のアントレプレナーシップ精神（自ら課題を見つけ、挑戦し、新しい価値や事業を創造する姿勢）を育成する取組、岐阜市の歴史や文化・自然、地域の食などの資源を生かした独自の学びを推進
- 教職員の働き方改革と必要な資質・能力の育成を推進するとともに、児童生徒数など学校を取り巻く環境の変化を新たな教育の可能性と捉え、子どもに深く向き合う、あたたかさと働きがいにあふれる学校運営体制を構築
- 小中一貫教育の取組を踏まえ、義務教育学校等における多様な学びを推進
- 良好な教育環境の整備・充実とともに、教育DXの推進による学び方の変化や公共施設等マネジメントを踏まえた学校施設の将来のあり方の検討を推進



小中一貫教育の取組を基盤に、義務教育学校における9年間を見通した学びと成長を支えています。藍川北学園や藍東学園では、異年齢交流や教科担任制、個別最適・協働的な学び、地域と連携した探究的な学習などを通じて、子どもを主語にした「未来の学校」づくりを進めています。

キーワード　#遊びから広がる学び　#非認知能力を育む

4 子どもの可能性を広げる幼児教育

- すべての教育の出発点である家庭教育を支援するための機会の創出や情報発信等の充実を図る
- 民間企業や大学の知見等も生かしながら、認知能力だけではなく、自己肯定感や主体性、協調性、社会性といった非認知能力を育む教育を推進
- 幼児期と義務教育期の円滑な接続など、子どもに関わる人や組織の連携を促進
- 子どもの個性や発達の多様性、心や体の健康増進に関する大人の理解を促し、適切で継続的な支援を実施
- 子どもは遊びを通して学び、成長し、また、探究力を高めていくことから、外遊びをはじめ、様々な場所で遊び込む機会やそのための環境整備を推進



子どもが周囲の大人との信頼関係の中で安心して自分の世界を広げられるよう、一人ひとりの興味や関心、発達や個性に寄り添っています。思いや考えを巡らせながら夢中で遊び込む経験を学びにつなげ、多様な関係者が連携して、その子らしい成長と可能性を切れ目なく支えています。

キーワード　#未来を創る人材育成　#高等教育から生まれる新たな価値

5 これからの時代に相応しい高等教育へ

- 変化の激しい時代にも対応できる基礎的で普遍的な知識や技能を育むとともに、新たな価値を創造する人材や起業家を育成するなど、一人ひとりの可能性を最大限に伸長する教育を推進
- 多様な世代や価値観が集う知の拠点である大学における地域社会との橋渡しを担うコーディネート機能の充実と、産学官連携によるスタートアップ支援、大学発ベンチャーの創設等の新たな事業創出や地域課題解決を図る取組を推進
- 岐阜市の幼児教育・初等中等教育機関との連携及び、市内外の高等教育機関や民間企業等との連携・共創を促進
- 大学の専門性を生かしたリカレント教育（社会人の学び直し）を推進
- 岐阜薬科大学と岐阜市立女子短期大学を統合した大学を開学し、薬学部と新たな理系学部との連携のもと、岐阜市をはじめとする地域社会の活性化、さらに世界で活躍し地域社会へ還元できる人材を輩出
- 県内を中心とする地域の国立・公立・私立大学間の連携を積極的に進め、高等教育の充実を通じて地域社会の持続的な発展を牽引
- 公立大学法人による自律的かつ機動的な大学運営を通じ、教育研究の質の向上を図るとともに、積極的な外部資金獲得の取組を推進



高等教育の充実に向け、岐阜薬科大学と岐阜市立女子短期大学の統合を柱とする市立大学改革を進めています。この改革により、岐阜薬科大学の薬学部を継続するとともに、岐阜市立女子短期大学の教育研究を発展的に継承する新たな理系学部を開設します。さらに、岐阜市が一貫して取り組むアントレプレナーシップ教育やソーシャルイノベーションを両学部に共通する学びとして位置付け、高い専門性と幅広い視野を備え、社会課題の解決に挑戦する人材の育成を目指します。

キーワード　#まち全体が学びの場　#地域でつなぐ学びと成長

6 子どもと教育を中心とするまちづくり

- 多様な立場を尊重し、対話を通じて共に学び合う機会や場づくりを推進
- 公共施設やオープンスペースなど、まちに点在する多様な地域資源を活かした学びと実践ができる機会や場づくりを推進
- 学校や公民館等を拠点としながら、学校・家庭・地域が一体となり、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等を生かした人材育成とコミュニティの活性化を促進
- 子どもが安全・安心で、楽しく学び、過ごせるサードプレイス（自宅や学校・職場ではない場）の充実と、オンラインを活用した新たな居場所づくりを推進
- 意見表明権をはじめとした、子どもの権利を尊重するとともに、関係する施策について子どもからの意見聴取及び反映を推進
- 子どもがまちづくりなどの担い手として主体的に参画し、活動を通じて社会性と創造性を育みながら成長できる機会と仕組みづくりを推進
- 幼児教育から高等教育まで一人ひとりの学びと成長がつながり続ける教育環境を構築し、地域に根ざした豊かな学びの土壌で次世代の希望と活力を育むまちづくりを推進



「ぎふMIRAI's」などを通じて、岐阜市全体を教室に、まちの人・もの・ことを先生に見立てた探究的な学びを進めています。公共施設や地域資源、サードプレイス、オンラインの居場所などを生かし、子どもたちが地域と関わりながら、自分の生き方を考え、まちづくりの担い手として成長できる機会を広げています。

だれもが健康で自分らしく生きられるまちへ

岐阜市は、市民一人ひとりが住み慣れた地域で、健やかに自分らしく暮らし続けられるまちを目指します。生涯を通じた健康づくりや介護予防を進めるとともに、医療・介護・福祉が連携し、複雑化・複合化する困りごとにも寄り添う支援体制を充実します。

さらに、多様な個性や価値観を認め合い、健康危機にも備えることで、だれもが安心と生きがいを実感できるまちを実現します。



1 人生100年時代、伸ばそう健康寿命
#生涯を通じた健康づくり
#身体活動・運動の習慣づくり

2 高齢者や障がいのある人が安心できるまちへ
#地域包括ケアの充実
#住み慣れた地域で安心の暮らし

3 ちがいを大事にして生きる力に変えるまちへ
#互いの違いを認め合う社会
#心とまちのバリアフリー

4 一人ひとりに寄り添う福祉
#困りごとに寄り添う支援
#孤独・孤立を防ぐ地域のつながり

5 いのちを支える安心の医療体制
#持続可能な地域医療
#救急・高度医療の充実

6 だれもが健やかに、健康課題と健康危機に対応したまちへ
#がん検診の受診率向上
#感染症や災害への平時からの備え

気になる場面をキーワードから探して、次ページ以降の取組を詳しく見てみましょう！ ▶▶▶

キーワード #生涯を通じた健康づくり #身体活動・運動の習慣づくり

1 人生100年時代、伸ばそう健康寿命

- 健(検)診の受診や保健指導の利用を促すことにより生活習慣病の予防を推進するとともに、官民連携で認知度向上、早期発見に関する情報提供・啓発を実施
- スマートフォン等によるウォーキングアプリなどの活用や、健(検)診結果を見ることで、自らの健康状態を把握し健康意識を高めるなど、生活習慣の改善など健康増進につながる行動を促進
- 健康を増進するために望ましい身体活動・運動の習慣づくりへの支援を充実
- だれもが健全な食生活を実践していくことができるよう、飲食関連事業者や地域のボランティア団体などと連携し、ライフステージに応じた食育を推進
- 栄養、運動、口腔機能の維持、社会参加を促し、適切な支援により、生活機能の低下や介護状態となることを防ぐフレイル予防の取組を実施
- 男女問わず、将来を見据えた妊娠前からの健康管理を含め、性や健康に関する正しい知識を身につけ、妊娠・出産を含めた将来設計や将来の健康を考えて、自分の健康管理を行うプレコンセプションケアの普及啓発を推進
- 次世代から高齢期までライフステージに応じた心身の健康づくりを支援し、生涯を通じた切れ目のない健康増進を推進



岐阜市の豊かな自然やまちなかを活かしたクアオルト® 健康ウオーキングを実施し、一人ひとりの体力に応じて運動強度を調整しながら心地よく歩ける、怪我のリスクの少ない運動の機会を提供しています。運動習慣の定着を促し、生活習慣病の予防や心身の健康づくりにつなげています。

キーワード #地域包括ケアの充実 #住み慣れた地域で安心の暮らし

2 高齢者や障がいのある人が安心できるまちへ

- 地域ごとの特性も生かしながら、医療や介護などの様々な職種が連携して高齢者等を支援する地域包括ケアシステムを充実
- ICT等のデジタル技術を活用した高齢者の見守り体制の構築により、安全・安心の確保を推進
- 認知症への理解啓発や、成年後見制度の活用促進など、認知症との共生に向けた取組を推進
- 介護等の担い手の確保・育成に向け、労働環境改善や外国人材の活用、介護ロボット・ICT等のデジタル技術活用などに対する支援策について積極的に情報発信するとともに、必要な知識や技術を習得する機会の充実を図る
- 障害福祉サービス等の提供や相談支援体制の充実を図るとともに、一般就労と福祉的就労の機会の確保に努める
- 高齢者の豊富な知識や経験を生かした学習機会の提供や社会参加の促進により、生きがいづくりと地域で活躍できる環境づくりを支援



だれもが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるまちを目指します。高齢者においては、見守り通知サービスを通じて、離れて暮らす家族等が日々の変化に気付き、声かけや安否確認を行うきっかけをつくることで、本人と家族双方の安心につなげています。

キーワード　#互いの違いを認め合う社会　#心とまちのバリアフリー

3 ちがいを大事にして生きる力に変えるまちへ

- 障がいや障がいのある人に対する理解と配慮の啓発に努めるとともに、施設や道路、公共交通、情報の入手などに関するバリアフリー化を推進
- 互いの文化や習慣を理解し合うことができ、外国人市民にとって暮らしやすく活躍できる多様性を生かしたまちづくりを推進
- 様々な人権課題を正しく理解し、確かな人権感覚を身に付ける教育や啓発を進め、だれもがその個性や価値観を互いに尊重し合う社会を実現
- 男女が性別に関わらず、対等な構成員として社会の様々な活動に参画し、個性と能力を発揮できる男女共同参画社会を推進
- 年齢や性別、国籍、障がいの有無など様々な違いをこえて、すべての人が利用しやすいユニバーサルデザインの考え方を取り入れたまちづくりの推進

心のユニバーサルデザイン
（心のバリアフリー）



障がいの有無、年齢、性別、国籍、文化や価値観の違いを互いに理解し、尊重し合えるまちを目指しています。施設や道路、公共交通、情報のバリアフリー化とともに、心のバリアフリーやユニバーサルデザインの考え方を広げ、だれもが自分らしく活躍できる環境づくりを進めています。

キーワード　#困りごとに寄り添う支援　#孤独・孤立を防ぐ地域のつながり

4 一人ひとりに寄り添う福祉

- 高齢の親とその子の生活が問題となる「8050問題」のような、分野ごとの支援では対応が困難な、複雑・複合化した支援ニーズを受けとめる包括的な支援体制を構築
- 個々の状況に応じた就労支援や生活支援を包括的に実施するなど、複合的な課題を抱える生活困窮者等への支援体制を充実
- 自殺の危険を示すサインへの気づきや傾聴等を行うゲートキーパー（いのちの門番）についての理解を進めるなど、孤立・孤独を防ぎ、悩みを抱えた人に対して支援する体制づくりを推進
- ひきこもりに対する相談体制の強化に取り組むとともに、関係機関や支援を行う団体等とのネットワークの形成を通じて、ひきこもり本人や家族への支援体制を構築
- 様々な困りごとを包括的に受け止め、関係機関や地域の多様な主体との連携・調整を図るコミュニティソーシャルワーカーを配置し、地域力の向上と支え合いの仕組みづくりを推進



8050問題、ひきこもり、生活困窮、孤独・孤立など、複雑化・複合化する困りごとに対応するため、重層的支援体制整備事業に取り組んでいます。地域に身近な相談役となるコミュニティソーシャルワーカーを配置し、本人や家族に寄り添いながら、関係機関や地域の多様な主体と連携して支援につなげています。

キーワード　#持続可能な地域医療　#救急・高度医療の充実

5 いのちを支える安心の医療体制

- 地域の医療需要を見極めながら、医療資源を効率的に活用するとともに、医療と介護の連携により安定的に医療を提供できる体制を構築
- 医療機関と連携し、デジタル技術を活用しながら、医療体制のさらなる充実を図る取組を検討
- 医療機関や関係団体と連携し、災害時における医療救護体制を構築
- 地域の医療を支える役割を担う岐阜市民病院は、関係機関と連携して市民のニーズに応え、小児医療、精神科医療を含む幅広い医療を提供するとともに、急性期病院として、専門的な手術、がん医療などの先進的かつ高度な医療や救急医療を提供
- 災害拠点病院である岐阜市民病院は、災害時における救命医療を提供する機能を整備
- 岐阜市民病院を含め、広域的な小児一次救急医療や二次救急医療体制を構築し、圏域として安定的な医療体制を構築



岐阜市民病院は、地域医療支援病院、地域災害拠点病院、救急告示病院として、急性期医療、救急医療、がん医療、小児医療など幅広い医療を提供しています。医療機関や関係団体と連携し、休日・夜間の急病対応や災害時の医療救護体制を含め、圏域全体で市民のいのちを支える医療体制づくりを進めています。

キーワード　#がん検診の受診率向上　#感染症や災害への平時からの備え

6 だれもが健やかに、健康課題と健康危機に対応したまちへ

- がん検診の必要性を広く周知し、効果的な受診勧奨を進めるとともに、包括連携協定先の店舗を検診会場にするなど、受診しやすい環境づくりを進め、がん検診の受診率向上を図る
- 心臓病や脳血管疾患等の循環器疾患の危険因子である、高血圧、糖尿病、脂質異常症を予防・改善するための取り組みとともに、循環器疾患を増悪させ、生活の質にも関わるCOPD（慢性閉塞性肺疾患）、CKD（慢性腎臓病）について正しい知識の普及を図るとともに、病気の早期発見や適切な治療の継続を呼びかけ、重症化予防を推進
- 食品衛生に関する啓発と監視指導を通じて、食中毒予防、食物アレルギー事故防止や適正な食品表示等を推進し、食品等の安全確保を図る
- 多剤処方を受ける後期高齢者に対して、薬剤師会、薬局と連携し、服薬相談につなげることで、ポリファーマシー対策に取り組む
- 予防接種の推進及び拡充を図り、わかりやすい情報提供を行うとともに、接種体制を整備する等、適切な感染症対策を推進
- 各種計画に基づき、関係機関との情報共有や連携を平時から強化し、感染症の発生やまん延、災害に伴う健康被害など、市民の生命や健康に重大な影響を及ぼす事態に迅速かつ的確に対応できる体制を確保
- 健康危機に関する正確で分かりやすい情報を適切に発信し、市民一人ひとりの理解を深め、予防行動につなげる



がんによる死亡者数を減らすため、がん検診の受診率向上を目指し、インターネット予約受付制度の導入や、土日や夜間の検診の実施とともに、公共施設に加え、包括連携協定先の商業施設など利便性の高い場所を検診会場とするなど、市民が受診しやすい環境整備を進めています。

人をつなぎ、暮らしと環境を守るまちへ

岐阜市は、市民一人ひとりが地域への想いを持ち、多様な主体とつながり、支え合うまちを目指します。地域コミュニティの力を育み、日常の安全・安心を確保するとともに、災害に備え、いのちと暮らしを守る取組を進めます。

さらに、脱炭素化や資源循環、豊かな自然環境の保全を市民・事業者・行政が共に進めることで、だれもが安心して暮らせる持続可能なまちを実現します。



気になる場面をキーワードから探して、次ページ以降の取組を詳しく見てみましょう！ ▶▶▶

キーワード　#住民主体の地域づくり　#地域のつながりと支え合い

1 つながり支え合う地域コミュニティへ

■地域のまちづくり活動について、まちづくり協議会の設立や地域まちづくりビジョンの策定、また、自立した組織に向けて担い手の育成や活動拠点の確保などによる機能強化を支援するとともに、地域ごとの特性やニーズ、課題を踏まえ、地域と地域が連携した取組を促進

■まちづくりにおいて行政の重要なパートナーであり、地域コミュニティの根幹を成す自治会の重要性を認識し、地域住民の自治会への加入及びデジタル技術の活用による自治会活動への参加がしやすい環境づくりなど、その機能を果たせるよう支援

■行政と社会福祉協議会などの団体が連携し、高齢者や障がいのある人などへの声かけなど様々な見守り活動や助け合い活動、公的な相談支援体制との連携など互いに助け合う地域づくりを促進

■地域における課題解決や施設整備等の合意形成のプロセスを通じ、住民同士の信頼やネットワークである「ソーシャルキャピタル（社会関係資本）」を醸成し、住民自治の深化を促進



地域の課題を、地域の皆さんが話し合い、合意形成しながら解決していく過程は、住民同士の信頼やつながりを育てる大切な機会です。まちづくり協議会や自治会などの活動を支援し、地域の中に蓄積される「ソーシャルキャピタル」を高めることで、平時から支え合い、地域の未来を自分たちで創る住民自治の深化を進めています。

キーワード　#多様な主体による協働　#地域への想いを行動に

2 一人ひとりの地域への想いをカタチに

■企業や団体、NPO等が主体、あるいは、市との連携・協働により、地域社会の課題解決を図る取組を促進

■すべての世代のシビックプライドの醸成につながるよう、地域での様々な活動を実践する機会を創出

■多様な主体の協働を促す中間支援組織のコーディネート機能を充実しつつ、中間支援組織相互の連携を図る

■個人の学びの充実とともに、地域課題の解決に向けた活動にも生きる生涯学習機会の提供



地域課題の解決に取り組むNPOや団体などの活動を、全国の人からの寄附で応援するクラウドファンディング型ふるさと納税を実施しています。地域への想いや共感を資金面から支え、動物との共生、文化の継承、まちなか再生など、多様な主体によるまちづくりの挑戦を後押ししています。

キーワード　#誰一人取り残さない避難支援　#地域で高める防災力

3 いのちと暮らしと尊厳を守る防災

- 南海トラフ巨大地震や異常気象による豪雨や洪水など様々な災害に対して事前防災対策や応急対策、復旧から復興まで一連の諸活動を円滑に実施できる体制の構築や事業を推進
- 道路や橋梁、上下水道、公園緑地等の維持管理や更新、耐震化、計画的な整備や長寿命化を推進するとともに、住宅、利用者の多い建築物、災害時の輸送路沿いの建築物の耐震化を支援
- 地震時の倒壊による被害を防止するため、通学路を含む道路や指定緊急避難場所等に沿って設置されている危険なブロック塀等の撤去を支援
- 地域と連携した学校での防災教育を推進し、将来の地域防災のみならず地域コミュニティを支える人材を育成。また、地域の防災訓練の充実や防災士育成など地域防災力の向上を図る
- デジタル等新技術を活用した備蓄品等の整備、管理や被災者支援の取組の充実など防災対策を推進
- 民間企業等と災害対応に関する協定締結を進めるとともに、民間企業におけるBCP（事業継続計画）の策定推進など防災パートナーシップの構築を強化
- 自ら避難することが困難な要配慮者の命を守るため、個別避難計画の策定促進と、地域や専門職が連携した誰一人取り残さない避難支援体制を構築



自然災害が激甚化・頻発化する中、実践的な防災教育を通じて、子どもたちが防災について考え、自らの命を守る判断力や、周囲と助け合う力を育み、自助・共助の大切さを学びます。さらに、学びを家庭や地域に広げ、防災活動への参加意識を高め、将来の地域防災を担う人材を育成することで、地域防災力の向上につなげます。

キーワード　#地域ぐるみの防犯・交通安全　#消防・救急体制の充実

4 日常の安全・安心を確かなものに

- 警察や関係機関との連携を図りながら、地域の自主的な防犯活動を促進
- 犯罪被害者が受けた被害の回復及び軽減を図る支援施策を推進
- 公共の場所における客引き行為等の禁止等に関し、必要な事項を条例で定め、市民等が安全かつ快適に通行・利用することができる環境づくりの推進
- 交通安全教育や啓発活動のさらなる推進により、交通安全対策を強化
- きめ細やかな消費者相談に加え、情報の収集提供により消費者教育を推進し、消費生活の安定と向上を図る
- 消防隊員の能力開発や消防庁舎・消防車両などの整備により消防体制を強化するとともに、救急隊員の質の向上による救急体制の充実、市民への救命講習による救命率の向上を図る
- 消防団の拠点整備や団員の確保により消防団機能を強化するほか、水防団員の活動環境整備、団員の確保や水防技術の向上・伝承による水防機能の維持・向上を図る



特殊詐欺の被害を防ぐため、警察庁推奨の詐欺対策アプリの活用を呼びかけています。詐欺に使われる電話番号の発着信ブロックや警告、防犯情報の通知などにより、被害の入口となる電話やスマートフォンへの対策を強化します。警察や関係機関と連携し、一人ひとりが防犯意識を高め、安全・安心に暮らせるまちづくりを進めています。

キーワード　#ゼロカーボンシティの実現　#資源が循環するまちづくり

5 脱炭素・資源循環でクリーンな未来を

- 市有施設において先導的な省エネ化・再生可能エネルギー導入を推進し、市域全体の取組を牽引するとともに、その取組を民間事業者に波及させることにより、脱炭素化を促進
- 市民や事業者等にライフスタイルの脱炭素化に向けた行動を促すとともに、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするまちである、ゼロカーボンシティの実現に向けた取組を市民、行政、企業が一体となったオール岐阜の体制で推進
- 気温の上昇や大雨の増加など、気候変動の影響による被害を軽減し、よりよい生活ができるようにする「適応」の取組を推進
- ごみの発生抑制や再生利用など3Rの取組に加え、持続可能な形で資源を利用する循環経済（サーキュラエコノミー）への移行を推進するとともに、気候変動・生物多様性保全・環境汚染防止等の同時解決（シナジー推進）を目指す
- 廃棄物の安定的処理体制の構築による適正処理を推進するため、東部クリーンセンターなどライフラインの一つであるごみ処理施設を計画的に更新するとともに、コストとサービスのバランスを考慮しながら、効率的な収集運搬体制を構築



2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す「岐阜市ゼロカーボンシティ宣言」のもと、市民・事業者・行政が一体となって脱炭素化に取り組んでいます。あわせて、さらなるごみの減量・資源化を進め、循環経済への移行とクリーンな未来づくりを推進しています。

キーワード　#生物多様性の保全と再生　#自然を未来につなぐ環境教育

6 自然の豊かさと美しさを次の世代へ

- 岐阜市の生物多様性を保全し、未来に引き継ぐため、自然環境の保全と再生に関して、市民や事業者、行政が連携してそれぞれの役割を果たしグリーンインフラの取組及び、自然と共生するまちづくりを推進
- 生物多様性の損失を止め回復軌道に乗せるネイチャーポジティブの視点に立ち、多様な生きものとの関わりを大切にし、生物多様性保全に関する周知・啓発や自然環境保全活動団体の活動などを促進
- 市民の環境を大切にする意識の醸成、次世代を担う子どもたちや地域の環境保全活動の核となる人材を育成するため、環境教育の充実を図る



金華山や長良川に代表される豊かな自然は、人々の営みと結び付き、岐阜市の文化や暮らしを育んできました。「ぎふネイチャーネット」を通じて、市民や活動団体と自然の変化や保全活動を共有し、身近な自然に関わる人を増やすとともに、環境学習に生かし、自然を大切にする心と行動を次の世代へつないでいます。

活気あふれる仕事と交流のあるまちへ

岐阜市は、地域に根ざした産業を育み、新たな挑戦と多様な交流から活力が生まれるまちを目指します。地域産業や農業の魅力を磨き、デジタル技術の活用やスタートアップの創出を促すとともに、だれもが能力を生かして自分らしく働ける環境を整えます。

さらに、長良川や金華山、鵜飼、岐阜城をはじめとする歴史・文化・自然の魅力を磨き、効果的に発信することで、国内外から多くの人が訪れ、交流とにぎわいが生まれるまちを実現します。



1 「自ら稼ぐ地域産業」への支援
#地域産業の高付加価値化
#地域経済の好循環

2 民間の新しいチャレンジを応援
#企業誘致・立地支援
#新産業を生み出すイノベーション

3 食を支え、未来へつながる農業
#ぎふベジのブランド力向上
#農業を支える担い手の育成

4 自分らしく働ける雇用のあるまちへ
#ワークダイバーシティの推進
#多様な人材の受け入れ

5 岐阜市ならではの魅力を磨き、伝わるまちへ
#本物志向の観光まちづくり
#歴史・文化・自然の磨き上げ

6 人を呼び込み、地域の活力を生み出すまちへ
#戦略的な誘客と交流の拡大
#スポーツ・ロケツーリズムによる活性化

気になる場面をキーワードから探して、次ページ以降の取組を詳しく見てみましょう！ ▶▶▶

キーワード #地域産業の高付加価値化 #地域経済の好循環

1 「自ら稼ぐ地域産業」への支援

- 地域産業の魅力・ブランド力を高め、地域の誇りとなる持続可能なビジネスモデルを未来へ継承する
- 農商工連携の促進等による新たな製品・サービスの開発や販路開拓を支援して地域内に新たな取引関係を生み出し、地域経済循環を高める
- デジタルツールの活用による新しい時代に適したサービスの創出や、創造性の高い仕事に集中できる環境づくりを支援し、産業の付加価値向上、事業の継続・発展を促す
- 企業の再生可能エネルギー等の活用を促すことにより、サプライチェーンからの除外リスクや電力コストの抑制を図り、企業の経営力強化につなげる
- 中小企業・小規模事業者の資金繰りや、事業承継の取組を支援することにより、事業継続リスクの抑制と事業者等の変化への適応力強化を図る



岐阜の地場産業や中小企業・小規模事業者が持つ技術、商品、サービスの魅力を磨き上げ、農商工連携による新たな製品開発や販路開拓を支援しています。デジタル化や事業承継、再生可能エネルギーの活用などを後押しし、地域内に新たな取引や仕事を生み出すことで、地域経済が持続的に循環する「自ら稼ぐ地域産業」づくりを進めています。

キーワード #企業誘致・立地支援 #新産業を生み出すイノベーション

2 民間の新しいチャレンジを応援

- 産学官連携で、AI、IoT、ロボティクス、ビッグデータなどのデジタル技術の活用や、人材・資金・情報などの集約により、新たなイノベーションを生み出すことで、スタートアップや新事業を創出し、地域内に新たな産業を生み出す
- 地域経済の活性化と新たな雇用の創出を図るため、製造業等の誘致に加え、農業6次産業化など農業の新たなフェーズを創る企業や、産学官連携によるライフサイエンス拠点の形成につながる企業の誘致を推進
- 脱炭素社会の実現に資する再生可能エネルギー関連の産業創出を促進し、エネルギーの地産地消による地域経済循環の向上など、経済と環境の好循環の実現を図る
- 将来の産業構造の変化にも適応し、将来的に社会や産業界からの需要が高まる理工系・デジタル分野の人材、新たな価値を生み出すことのできる柔軟で創造性の高い人材を育成するとともに、組織や地域の枠を越えた多様な経験や知見との共創により、地域企業の変革を促進
- 日本最大級のオープンイノベーション拠点「STATION Ai」（名古屋市）との連携を強化し、起業家交流イベントの開催や実証実験の受入れ支援などを通じて、スタートアップの誘致及び市内企業とのオープンイノベーションの創出につなげる



革新的なアイデアで成長を目指す企業を「G-STA（岐阜市認定スタートアップ企業）」として認定し、融資制度の優遇、コワーキングスペースの利用支援、実証実験の調整、イベント登壇機会の提供などを通じて、岐阜市発のスタートアップ創出と成長を後押ししています。

キーワード　#ぎふベジのブランド力向上　#農業を支える担い手の育成

3 食を支え、未来へつながる農業

- 農業を担う者による効率的な農業経営と中小規模の農家への支援、スマート農業の推進・デジタル技術の活用により生産性を向上させ、経営力強化を図る
- 近隣市町と連携した特産農産物のブランド力向上と販路の拡大支援により、高付加価値化及び収益性向上を図る
- 関係機関と連携した技術指導、農地や資金調達等の支援により、後継者育成だけでなく非農家からの就農も含めた多様な人材の就農を推進し、農業の次世代の担い手の確保・育成を図る
- 生産者と消費者とのつながりの強化、安全・安心な農産物の地産地消の推進により、市民や消費者の農業や農地の保全に対する理解の促進を図る



岐阜市近郊で生産される特産農産物を「ぎふベジ」としてブランド化し、地産地消と販路拡大を進めています。いちご、えだまめ、柿などに加え、令和7年4月から対象エリア・品目を拡大し、6市3町で連携してPRを強化しています。スマート農業や担い手の確保・育成とあわせて、生産者と消費者のつながりを深め、地域の食と農を次の世代へつなげています。

キーワード　#ワークダイバーシティの推進　#多様な人材の受け入れ

4 自分らしく働ける雇用のあるまちへ

- すべての人に働くことを通じて居場所と出番をつくることが人々の幸せにつながるという考えのもと、ワークダイバーシティを推進
- 時間や場所にとらわれない、短時間・フレックス・テレワークなど多様な働き方の導入を促進
- 市内のみならず市外にも広く目を向け、岐阜市の就労環境の魅力を高めることで多様な人材の地域への受け入れにつなげる
- 重層的な就労支援を通じて、就労に困難を抱える人を企業に結びつけることにより、働きたいすべての人が能力を発揮し活躍できる地域社会の実現を目指す

WORK DIVERSITY GIFU

働くことを通じて、一人ひとりに居場所と出番をつくるワークダイバーシティを推進しています。短時間・フレックス・テレワークなど多様な働き方の導入を促すとともに、就労に困難を抱える人と企業を結びつけ、だれもが能力を発揮し自分らしく働ける地域社会の実現を目指します。

キーワード　#本物志向の観光まちづくり　#歴史・文化・自然の磨き上げ

5 岐阜市ならではの魅力を磨き、伝わるまちへ

- 日本遺産『「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜』のストーリーを生かしたプロジェクトの推進や構成文化財群の保存・活用、歴史・文化資源の磨き上げ、効果的な発信を官民一体となって行うことで、本物志向の観光まちづくりを推進
- 観光客の回遊性向上や滞在時間拡大に向け、ぎふ長良川の鵜飼や岐阜城、金華山などに加えて、新たな観光資源を掘り起こし、面的に魅力を創出する
- 川文化に市民や観光客が親しみ、楽しめる親水空間を創出するため、長良川の水辺環境を整備し、官民連携による利活用を促進
- 観光の担い手の育成と観光資源に対する市民の誇りの醸成を図りながら、DMOを中心に市民と行政、観光事業者等が一体となって、観光を基軸とした持続可能なまちづくりを推進するとともに、宿泊税等を活用し、受入環境の整備や魅力向上に再投資する

※DMO：地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取役となる法人

- 多様な文化芸術に触れる機会を創出し、市内外の人々の交流を促進するとともに、本市固有の歴史文化の発掘や活用を通じて地域の魅力向上を図る



岐阜市ならではの歴史・文化・自然資源を守り、磨き、つなぐことで、ここでしか味わえない魅力と体験を生み出します。ぎふ長良川の鵜飼では、鵜飼文化の保存・継承とともに、鵜飼観覧船の乗船環境やサービスの充実を図り、長良川の風情と伝統をより深く楽しめる観光資源へと磨き上げます。

キーワード　#戦略的な誘客と交流の拡大　#スポーツ・ロケツーリズムによる活性化

6 人を呼び込み、地域の活力を生み出すまちへ

- データ分析による戦略的なマーケティングやインバウンド誘客のプロモーションを強化し、国内外からの来訪促進と観光消費の増加を図る
- 戦略的なMICE誘致と観光との連携により、地域のビジネス機会の創出や研究促進、地域経済への波及効果、都市のブランド力向上を図る

※MICE：Meeting（会議）、Incentive travel（報奨・招待旅行）、Convention（学会・国際会議）、Exhibition（展示会）/Event

- 地元プロスポーツの活性化や競技スポーツの振興をはじめ、まちなかの広場等を活用したアクションスポーツなど、市民のだれもが身近な場所で気軽にスポーツができる環境整備等を通じて、交流機会の増加を図るとともに、スポーツコンベンションや市外からの誘客を推進
- 海外都市との文化・スポーツを通じた市民交流や観光・農商工関連の産業をはじめとする経済交流を促進し、岐阜市の魅力発信とグローバル人材の育成を図る
- 映画・テレビドラマ等の映像作品のロケ誘致・支援を積極的に行い、多様な観光資源を生かしたロケツーリズムを推進することで、地域の魅力発信と新たな観光需要の創出を図る



岐阜市ならではの魅力を広く発信し、市内外から人を呼び込むことで、新たな交流やにぎわい、地域経済の活力を生み出します。アクションスポーツでは、まちなかの広場を舞台に、子どもからシニア、障がいのある人まで、だれもが観て、体験して楽しめるイベントを開催しています。

岐阜市は、都市機能が適切に集まり、公共交通によって地域がつながる、便利で暮らしやすいまちを目指します。デジタル技術を生かした移動環境の充実や、道路、上下水道、公園緑地などの都市基盤の計画的な維持・更新を進めるとともに、安全で快適な住環境と潤いのある緑の空間を整えます。

さらに、駅周辺や柳ケ瀬など、それぞれのエリアの特性を生かし、行政と民間が連携して、多様な人や活動が行き交う魅力とにぎわいのあるまちを実現します。



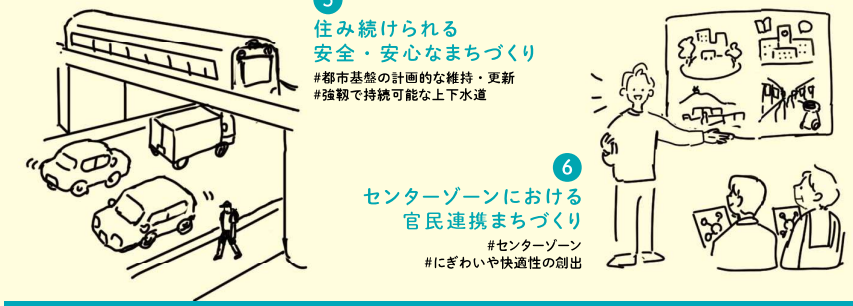
1 コンパクト・プラス・ネットワークによる集約型都市へ
#都市機能が集まる拠点づくり
#持続可能な公共交通ネットワーク

2 デジタル技術等を活かしたまちづくり
#スマートシティぎふの推進
#自動運転による新たな移動



3 住み心地の良い住環境のあるまちへ
#空き家の適正管理と利活用 #岐阜らしい景観づくり

4 憩い・潤い・安らぎのある緑のまちへ
#グリーンインフラの推進 #公園緑地の整備と活用



5 住み続けられる安全・安心なまちづくり
#都市基盤の計画的な維持・更新
#強靭で持続可能な上下水道

6 センターゾーンにおける官民連携まちづくり
#センターゾーン
#にぎわいや快適性の創出

気になる場面をキーワードから探して、次ページ以降の取組を詳しく見てみましょう！ ▶▶▶

キーワード #都市機能が集まる拠点づくり #持続可能な公共交通ネットワーク

1 コンパクト・プラス・ネットワークによる集約型都市へ

■人口減少や少子高齢化の進展が見込まれる中においても健康で快適な生活を確保するため、コンパクト・プラス・ネットワークの考え方に基づき、災害リスクも踏まえ、住宅と医療・福祉・商業等の利便施設がまとまって立地するようゆるやかに誘導を図りつつ、公共交通と連携したまちづくりを推進

■中心部・周辺部及び郊外部のそれぞれにおいて、地域の特性に応じ、ふさわしい都市機能や日常生活機能等が集積する拠点の機能を高め、都市の活力や魅力の向上を図る

※中心部（中心市街地活性化基本計画に基づく中心市街地を含んだ地理的・機能的中心地）・周辺部（中心部の周辺に位置し、環状線沿線を中心とした地域）・郊外部（中心部及び周辺部を除く地域）

■都市活動を支え中心部や拠点等を連絡する軸として公共交通や主要道路を位置付けるとともに、特に公共交通については、人口減少によるバス需要の低下や、深刻化する運転士不足などの状況を踏まえ、路線バスとコミュニティバスが連携した持続可能な公共交通ネットワークの構築を推進



人口減少や少子高齢化が進む中でも、だれもが健康で快適に暮らし続けられるよう、医療・福祉・商業などの生活機能がまとまる拠点づくりと、公共交通によるネットワーク形成を進めています。中心部、周辺部、郊外部それぞれの特性を生かしながら、路線バスとコミュニティバスが連携した持続可能な公共交通ネットワークを構築し、都市全体の活力と利便性を高めます。このように、公共交通は重要なインフラであることから、地域社会全体の財産としてとらえ、オール岐阜でつくり守り育て、未来につなげていきます。

キーワード #スマートシティぎふの推進 #自動運転による新たな移動

2 デジタル技術等を生かしたまちづくり

■産学官連携のもと、デジタル技術等を活用し、交通や健康、観光等の各分野の課題解決とともに、分野を横断した全体最適化を図り、出かけて健康になるまちの実現を目指すスマートシティぎふの推進を図る

■持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指し、公共交通への自動運転技術の導入に向けて取り組むとともに、民間との連携を強化し、岐阜市に適したMaaSの研究を進め導入を推進

※Maas（Mobility as a Service）：一人ひとりの移動ニーズに対応して複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス



運転手不足や公共交通の維持といった課題に対応するため、中心市街地で自動運転バス「GIFU HEART BUS」の継続運行を進めています。技術の検証、社会受容性の向上、ビジネスモデルの構築に取り組むことで、レベル4自動運転の本格的な社会実装を目指します。こうした自動運転技術を活用した自由度が高い交通システムを、コミュニティバスをはじめ公共交通ネットワークの適材適所に導入することで、だれもが便利に移動でき、まちに出かけたくなる未来の公共交通をつくります。

キーワード　#空き家の適正管理と利活用　#岐阜らしい景観づくり

3 住み心地の良い住環境のあるまちへ

- 地域ごとの特性や都市環境を生かした、便利で快適に暮らせる住環境づくりを推進
- 行政や市民・事業者等が協働し、各地域における自然・環境、歴史・伝統、都市が調和した多彩で魅力的な景観を貴重な資産として未来に引き継ぐとともに、岐阜ならではの魅力ある景観形成・景観まちづくりの取組を推進
- 周辺の生活環境に悪影響を及ぼすおそれのある空き家への対策を進める一方で、官民連携による空き家の流通及び利活用を促進
- 大気や水、土壌などの環境を良好に維持・保全することや、自動車から環境負荷の小さい公共交通への転換を促すことなどにより、健康で環境にもやさしい暮らしを実現



岐阜市空き家バンクでは、売却を希望する所有者の物件情報を発信し、購入希望者との橋渡しを行っています。あわせて、空き家の取得・改修に対する補助制度により、使われていない住宅を新たな住まいとして生かし、空き家の流通・活用と市内への定住につなげています。

キーワード　#グリーンインフラの推進　#公園緑地の整備と活用

4 憩い・潤い・安らぎのある緑のまちへ

- 岐阜市における豊かな緑を貴重な地域資源、固有の景観として保全・継承するとともに、多面的かつ複合的な機能により安全で快適な都市環境を守り、まちの魅力を高める社会基盤「グリーンインフラ」として位置付け、持続可能なまちづくりを推進
- 緑を活用し、環境保全や災害防止、生物多様性の保全と再生などを目指すまちづくりを推進
- 市民が憩い安らぐ快適な生活環境を支える公園緑地の整備と活用の推進
- 官民連携のもと公共施設及び民有地の緑化を進め、市民や来街者の安らぎと潤いの場、緑豊かな親しみやすい空間・環境を創出し、市民の居住満足度の向上、交流人口の増大や地域活性化、まちなかのにぎわい創出を図る



緑は良好な居住環境を形成すると同時に大気を浄化する作用があります。岐阜市では、金華山、長良川などの骨格的な緑地を生かしながら、緑のネットワーク化を図り、公園や河川及び幹線道路等の公共空間と、住宅や工場・大型店舗等の民有地空間の緑化を包括的に推進しています。

キーワード　#都市基盤の計画的な維持・更新　#強靭で持続可能な上下水道

5 住み続けられる安全・安心なまちづくり

- 市民のだれもが住み続けたいと思う魅力あるまちを実現するため、道路や河川、公園緑地、上下水道、ごみ処理施設などを適正に整備し、都市環境や都市基盤の効率的かつ効果的な維持・更新を図る
- 国道21号岐阜市内立体事業等の広域道路ネットワーク構築を関係機関と連携して進めるほか、広域連携に資する幹線道路整備などを推進するとともに、各地域の特性を踏まえ、通学路等の日常生活を支える生活道路の整備を計画的に推進
- 名鉄名古屋本線鉄道高架化事業にあわせて、新たに整備される統合駅を中心に加納・茶所統合駅周辺土地区画整理事業を実施することにより、交通の安全性・円滑性の向上や、計画的かつ良好な市街地を一体的に整備し、安全・安心で利便性が向上した快適なまちづくりを推進
- 将来にわたって安定的かつ持続可能な上下水道事業に取り組み、ライフラインとしての機能を維持するとともに、衛生的で快適な都市環境を実現する
- 良質で豊富な長良川の伏流水や地下水を生かしつつ、水質管理の充実や強化等を図り、安全でおいしい水の供給を図る



名鉄名古屋本線の高架化により、踏切事故や渋滞、市街地の分断を解消し、安全・安心なまちづくりを進めています。あわせて、上川手地区の土地区画整理や長森駅周辺のまちづくりなどの関連事業を一体的に進め、地域の皆さんに寄り添いながら、岐阜市の未来につながる魅力あるまちづくりを目指します。

キーワード　#センターゾーン　#にぎわいや快適性の創出

6 センターゾーンにおける官民連携まちづくり

- センターゾーンの各エリアと、それらをつなぐ連携軸の魅力や利便性を高めるとともに、センターゾーン全体で生まれるにぎわいや活動の連携を促進し、回遊性の向上や魅力向上を図る
- 駅周辺エリアでは、岐阜駅北の市街地再開発事業により岐阜都市圏の玄関口にふさわしい魅力ある都市機能の集積を促進し、にぎわいの創出や回遊性の向上、まちなか居住の促進を図る
- 柳ケ瀬エリアでは、今ある資産を生かしながら、新しい使い方でまちを変えるリノベーションまちづくりの取組を進め、柳ケ瀬グラッスル35、セントラルパーク金公園、柳ケ瀬広場をはじめとする拠点や民間の建物を柔軟に使いこなす民間主導のまちづくりを促進し、エリアの価値向上を図る
- つかさのまちエリアでは、多様な主体による活動を通じて、にぎわいの創出と多様な人々の交流を促進するとともに、シビックプライドの醸成を図る
- 岐阜公園エリアでは、岐阜城跡をはじめとする歴史・文化資源を生かした整備を一体的に進め、観光拠点としての魅力向上と、来訪者をもてなす空間の創出を図る



まちをつくるのは行政だけでも民間だけでもありません。これらが連携して、これまでの積み重ねを継承し、ないものは生み出していくことが必要です。これまでリノベーションまちづくりを推進してきた柳ケ瀬エリアでは、多様な人たちで構成するエリアプラットフォームが中心となり、官民の役割分担をしながら、エリアの課題解決や新たな魅力の創出に取り組むことで、エリアビジョンの実現に向けたまちづくりを進めています。

行政経営の視点



行財政運営・公共施設等マネジメント

未来志向の行財政運営を行います

- 計画的な財政運営に基づく財政規律の堅持
- 中長期的な都市経営の視点に立ち、未来への投資となる重点施策を推進
- アウトカム（成果）を重視した政策・施策・事業の構築
- 成果・優先度の見える化による効率的かつ効果的な事務事業の見直し

財政規律を堅持しながら、中長期的な都市経営の視点に立ち、未来への投資となる重点施策を推進しています。アウトカム、すなわち成果を重視した政策・施策・事業の構築を進めるとともに、成果や優先度を見える化し、限られた財源や人材をより効果的に活用する行財政運営を進めています。

行政のDXを推進します

- スマートフォン等を通じた行政サービスの提供など、市民と行政との接点となる窓口業務のDX推進
- デジタル化の進展に伴い、デジタル技術を活用することが難しい人たちへのきめ細やかなサポートを強化
- デジタル技術を活用したBPRの徹底や各種クラウドサービスの活用など、職員の事務効率化につながる市役所内部業務のDX推進
- AIデフォルトな組織を目指し、AIの活用を前提とした働き方を推進
- 人流データやBIツール等を活用したエビデンスに基づく政策立案（EBPM）の推進
- コミュニケーションツールを活用した職員のタスク管理・タイムマネジメントの徹底
- DXを担う人材の育成・確保により、行政のデジタル化を加速
- ICTガバナンスの強化及び情報セキュリティ対策の徹底を図る

スマートフォン等を通じた行政サービスの提供など、市民と行政の接点となるフロントヤードのDXを進めています。あわせて、AI活用を前提とした「AIデフォルト」な組織づくりや、データに基づく政策立案、業務改革、DX人材の育成に取り組み、便利で質の高い行政サービスの実現を目指しています。

BPR

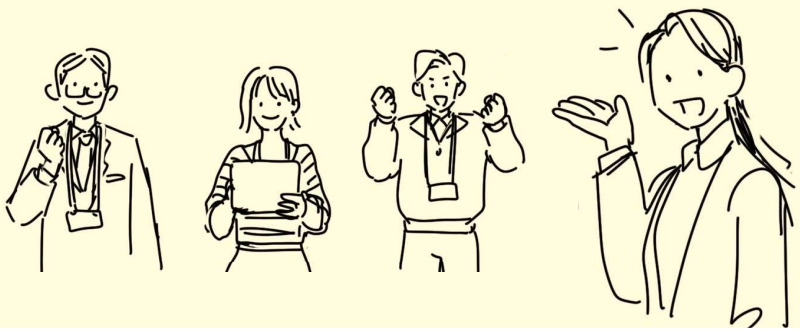
業務の目的や流れを根本から見直し、より効率的な仕組みに変えることです。

ICTガバナンス

ICTを適切かつ安全に活用するための方針や管理の仕組みのことです。

AIデフォルト

AIの活用を特別なものとせず、日常の業務で使うことを前提とする考え方です。



市民に寄り添う行政運営を行います

- 地域住民の身近なところで公共サービスを提供する事務所の機能を拡充
- 対話や、SNSなど多様な媒体を組み合わせた幅広い市政情報の公開と市民広聴の推進
- 社会の変化を的確に捉え、市民一人ひとりに寄り添い、多様なニーズに応えられる資質・能力を備えた職員の育成及び組織横断の連携体制づくり
- 非常時においても市民サービスを継続できる組織体制づくり

地域住民の身近なところで公共サービスを提供する事務所機能を拡充するとともに、対話やSNSなど多様な媒体を組み合わせ、市政情報の発信と市民広聴を進めています。社会の変化や市民一人ひとりの多様なニーズを的確に捉え、組織横断で連携しながら、非常時にも市民サービスを継続できる行政運営を目指しています。

行政経営の視点を取り入れた公共施設等マネジメントを進めます

- 公共施設等の安全・安心を確保するための適切な管理
- 市民ニーズ等を踏まえた公共施設等の最適化
- 民間事業者との共創による公共施設等の戦略的な利活用
- 空き地や老朽化した公共施設等の有効活用

公共施設等の安全・安心を確保しつつ、市民ニーズを踏まえた最適化を進めています。PFIをはじめとするPPP/PFI手法を活用し、民間の資金やノウハウを取り入れることで、質の高いサービス提供と効率的な維持管理を図り、空き地や老朽化した公共施設等を未来価値を創造する資源として有効活用します。

シティプロモーション

- 岐阜市の「住む人、来る人、働く人」を増やすための取組等をPRし、子育て世代や名古屋圏等から岐阜市への移住や定住を促進
- 岐阜市の人やコトと多様な関係を持つ人である関係人口のさらなる創出・拡大
- 時代や社会の変化を的確に捉え、新たな価値を生み出すことのできる人材を国内外から呼び込む取組を推進
- 市民のシビックプライドを醸成し、住み続けたいと思う人を増やす取組を推進
- 他都市にはない岐阜市の魅力を「岐阜ならではの質の高い暮らし（ライフスタイル）」としてパッケージ化し、ブランディングを推進
- 行政組織におけるプロモーションスキルの向上

東海環状自動車道の全線開通やリニア中央新幹線の開業などの機会も生かしながら、移住・定住や関係人口の創出・拡大を進めています。岐阜ならではの質の高い暮らしをライフスタイルとして磨き上げ、発信することで、市民のシビックプライドを高めるとともに、国内外から多様な人材を呼び込む、選ばれる都市を目指します。

市民の皆さんの声が構想に

本構想の改定にあたっては、岐阜市の未来を共に考えるため、世代や立場の異なる多くの皆さんから、まちへの想いや地域の課題、未来への期待を伺いました。寄せられた一つひとつの声を大切に受け止め、目指すまちの姿や今後のまちづくりの方向性に反映しています。ここでは、その主な声と対話の歩みをご紹介します。



2025年度

5月26日～12月16日	有識者ヒアリング（全6回）
11月19日～1月21日	市民ワークショップ（全3回）
1月9日、1月16日	学生ワークショップ（中学生）
3月7日	外国人市民ワークショップ

2026年度

4月15日	学生ワークショップ（高校生）
6月1日	学生ワークショップ（大学生）
7月7日	第1回岐阜市未来のまちづくり懇談会
10月6日	第2回岐阜市未来のまちづくり懇談会
12月4日～1月4日	パブリックコメント
12月7日	市民説明会
○月○日	岐阜市未来のまちづくり構想 改定

■有識者ヒアリング

日程	テーマ
2025年5月26日	健康・福祉・医療（シニア世代のWell-being、地域医療のDXなど）
2025年7月7日	産業・労働・交流（地方企業の人材環境、企業のWell-beingなど）
2025年8月5日	市民協働・防災・環境（気候変動対策、防災対策など）
2025年8月26日	教育・子育て（幼児教育の質、教育・子育てデータの活用など）
2025年11月14日	分野横断的視点（岐阜市の魅力、AI時代における職員の役割など）
2025年12月16日	都市基盤整備・交通・中心市街地活性化（寛容性と地域の希望、公民連携など）

主な意見

- 2040年に向けて、人口減少対策が様々な方法で行われているが、文化や働き方、ウェルビーイングに注目することが効果的。
- 自治体は地域の空気づくりが重要である。人手不足は企業が対応するしかないが、社会を導く役割が自治体にある。
- 市民の理解を促すには、問題の当事者意識を持たせることが重要である。世界規模の話では実感が湧きにくい。岐阜市内での自身の生活への影響を想像できなければ、準備や対策につながりにくい。
- 行政は、本当に子どもにとって役に立つことは何かを見極めつつ、子どもの将来に資する施策についてエビデンスを活用しながら説明することが大事である。
- 行政は従来「最大多数の最大幸福」しか追求できなかったが、AIによる効率化の先に「最大多様の幸福」を追求する余地が生まれる。
- 自然減は一定程度不可避である一方、地方特有の「一人当たりの空間的豊かさ」というポジティブな価値を発信すべきである。空地・空き店舗は「衰退の象徴」ではなく、新たな挑戦をする機会として再定義できる。




■未来のまちづくり懇談会

日程	参加者
2026年7月7日、10月6日	各種団体及び市議会の代表者等 計15名

主な意見

- ダミー
- ダミー
- ダミー
- ダミー
- ダミー



■市民ワークショップ

日程	参加者
2025年11月19日、12月17日、2026年1月21日	市内在住、在勤、在学等の方 延べ132名

主な意見

●料理や工作、歴史、交通など、地域に眠る多彩な知識や得意分野を持つ人に光を当ててほしい。誰がどのような活動をしているかが分かれば、学びたい人や地域に関わりたい人との出会いが生まれ、新たなつながりへと広がっていくと思う。

●医療や介護が必要になっても、住み慣れた自宅で自分らしく暮らし続けられるまちになってほしい。医師や介護・福祉の専門職が情報を共有し、本人や家族の希望に寄り添いながら、日々の生活を一体となって支えてもらえると安心につながる。

●地域の活動を、年齢や立場にかかわらず、関心のある人が個人で参加できる仕組みも必要ではないか。空き家の活用や地域の仕事づくりにも取り組み、活動の担い手と運営資金を確保しながら、持続できる地域コミュニティが広がると良いと思う。

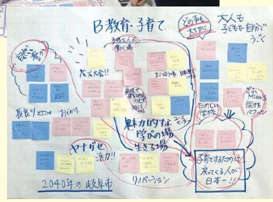
●岐阜市ならではの自然や歴史、文化を大切にしながら、中心市街地のにぎわいづくりや特色ある教育・医療、最先端技術の活用を進めてほしい。子どもから高齢者まで、だれもが便利さと楽しさ、地域への愛着を感じながら、自分らしく心豊かに暮らせるまちになってほしい。

●地域で活動したい人がいても、世代や得意分野の違いから、うまくつながれないことがある。人と人、活動と地域を結ぶ「つなぎ役」を育て、高齢者の経験と若い世代の知識や技術を生かしながら、新しい挑戦が生まれる温故知新で寛容性のあるまちになってほしい。

●歩くことや日々の活動が、健康づくりだけでなく、まちのエネルギーづくりにもつながる仕組みがあると面白い。環境に配慮した行動を特別な負担にせず、楽しみながら続け、その成果を実感できるまちにしたい。

第1回目（2025年11月19日）





第2回目（2025年12月17日）



第3回目（2026年1月21日）







■学生ワークショップ

日程	参加者
2026年1月9日、1月16日	中学生（55名）
2026年4月15日	高校生（32名）
2026年6月1日	大学生（49名）

主な意見

●ダミー

●ダミー

●ダミー

●ダミー

●ダミー







■外国人市民ワークショップ

日程	参加者
2026年3月7日	12名

主な意見

●岐阜市は山や川などの美しい自然があり、研究や仕事のストレスから離れてリラックス（ヒーリング）するのに適している。

●外国籍の子どもが増えることで、彼らをサポートする学校の先生の負担が増えていることを心配している。

●ルールやアパートに関する情報などがほとんど日本語で書かれているため、十分に理解できない。

●障がいを持つ外国籍の子どもたちに対する、より良い教育的サポートをしてほしい。







■市民説明会

日程	2026年12月7日	参加者	○○名

主な意見

●ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー

●ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミー

●ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー

●ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー



■パブリックコメント

意見募集期間	提出数	意見数
2026年12月4日～2027年1月4日	○○通	○○件

主な意見

●ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー

●ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー

●ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミー

●ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー

●ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー

■出前講座・アンケート

対象人数	○○人

主な意見

●ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー

●ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー

●ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミー

●ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー

●ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー



将来像の実現に向けて

ダミー

将来像に関する数値目標

	2026年度	2040年度
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー	00.0%	00.0%
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー	00.0%	00.0%
ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー	00.0%	00.0%

将来像に関する数値目標

分野	指標	2026年度	2040年度
	ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー	00.0%	00.0%
	ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー	00.0%	00.0%
	ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミー	00.0%	00.0%

岐阜市未来アナザー・ストーリー

～あの頃、思い描いた未来へ～

冒頭では、2040年を生きる中学生の男の子の視点から、未来の岐阜市の姿を描きました。
ここでは、2027年当時に中学生だった女性が、故郷・岐阜市へ戻り、変わりゆくまちを歩きながら、その魅力と未来創りへの想いを改めて綴る「もうひとつ」の物語を紹介します。



2040年秋、東京駅からリニア中央新幹線を乗り継いで、私はJR岐阜駅に降り立った。北口のデッキに立ち、中心市街地の街並みを望んだ。

28歳になった今、転職を機に、故郷へ戻ることにしたのだ。

学生時代や就職後にも年に何度か帰省していたが、慌ただしい日常の中、家族や友人に会うだけで、まちをゆっくり歩く時間はほとんどなかった。

見慣れていたはずの駅前には、新しい風景が広がっていた。

JR岐阜駅北口の再開発も完了し、周辺の施設が歩行者デッキで結ばれ、新たな都市空間が生まれている。デッキの下では、人々の暮らしの足となった自動運転バスが、まちの日常に溶け込むように静か走っていた。デジタルサイネージには、様々な言語で観光情報やまちなかの催しが映し出され、初めて訪れた人のまち歩きをさりげなく支えている。

問屋町や柳ケ瀬の界隈では、昔ながらの老舗と、新しいスタートアップ企業のオフィスやショップが共存し、若い起業家やクリエイターたちが生き生きと働いている姿が印象的だった。

その一角に佇む、味わいのあるカフェに惹かれ、立ち寄ることにした。何でも、地域の大学生と中学生が一緒に考えたリノベーション案をもとに改装された物件らしい。

私はそこで、市内で採れたイチゴをふんだんに使ったパフェを頬張った。つややかな果実は香り高く、ひと口ごとに爽やかな風味が広がり、上品な甘さが、歩き疲れた体に心地よく染み渡っていく。

午後の遅い時間帯、長良川沿いを歩くと、人々が散歩やジョギングを楽しんでいる。

川沿いには遊歩道や憩いの空間が整い、だれもがそれぞれの時間を思い思いに過ごしている。金華山山頂の岐阜城や、山麓の織田信長公居館跡も整備が進み、ARグラスを通して、かつての建物や戦国時代の人々の営みを目の前に再現できるという。岐阜の歴史を体感できるこの場所は、国内外から訪れる人々で連日にぎわっているそうだ。

夕陽に照らされた長良川の川面を眺めながら、私は深く息を吸い込んだ。

東京での慌ただしい日々とは違う、ゆったりとした時間の流れを感じる。人と自然が調和し、歴史と伝統、そして未来が共存する、このまちの魅力を改めて実感していた。



そのとき、ふと中学生の頃の記憶がよみがえった。

総合学習の時間だっただろうか。市役所の職員さんが学校に来て、これからの岐阜市のまちづくりについて話してくれたことがあった。内容を細かく覚えているわけではない。けれど、「みんなが主役になって、岐阜の未来を創っていこう」というような言葉だけは、不思議と心のどこかに残っていた。

今、目の前に広がる岐阜市の姿は、あの頃、誰かが思い描き、多くの人が力を合わせ、少しずつ形にしてきた未来なのかもしれない。そして、その未来は、これからも続いていく。

私もこれから、「このまちの未来創り」に関わってみたい。

そう思ったら、故郷への愛おしさが、胸いっぱいに広がった。

ここまで本構想をお読みいただき、ありがとうございました。
岐阜市が2040年頃に向けて目指す未来と、その実現に向けたまちづくりの方向性を感じていただけたのではないでしょうか。
次は、あなた自身が一歩を踏み出す番です。
あなたは岐阜市の未来にどのように関わってみたいですか。
暮らしの中でできること、仕事や活動を通じてできること、いつか挑戦してみたいこと。すぐにできることでも、これから育てていきたい挑戦でもかまいません。その想いを、あなたの「行動宣言」として聞かせてください。

行動宣言はこちらから

2027年〇月改定
岐阜市
企画部未来創造研究室